

高知市東消防署三里出張所新築工事

令和7年 6月 30日

(株) A S A 設計事務所

図 面 目 次

建 築 意 匠 図					建 築 構 造 図				
図 番	図 名	図 番	図 名	図 番	図 名	図 番	図 名	図 番	図 名
A-1	図面目次	A-41	1階 展開図 (ENTホール)	A-81	家具リスト 4	S-01	構造設計特記仕様 その1		
A-2	工事区分表	A-42	1階 展開図 (消防倉庫1・多機能WC)	A-82	家具リスト 5	S-02	構造設計特記仕様 その2		
A-3	特記仕様書 (1)	A-43	1階 展開図 (救急倉庫・救急消毒室)	A-83	消防備品詳細図 1	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)		
A-4	特記仕様書 (2)	A-44	1階 展開図 (防火衣洗濯室・防火衣乾燥室)	A-84	消防備品詳細図 2	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)		
A-5	特記仕様書 (3)	A-45	1階 展開図 (出動準備室)	A-85	消防備品詳細図 3	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)		
A-6	特記仕様書 (4)	A-46	1階 展開図 (職員男子・女子WC、油庫)	A-86	ホースリフター組立図	S-06	鉄骨構造標準図 (1)		
A-7	特記仕様書 (5)	A-47	1階 展開図 (消防倉庫2・燃料ポンプ室)	A-87	ホースリフター詳細図	S-07	鉄骨構造標準図 (2)		
A-8	特記仕様書 (6)	A-48	1階 展開図 (活動車庫1)	A-88	ホースリフター鉄骨孔明け図	S-08	J F 7 5・J F 7 5 W 設計・施工標準		
A-9	特記仕様書 (7)	A-49	1階 展開図 (活動車庫2)	A-89	訓練用金物詳細図	S-09	ベースバック柱脚工法設計施工標準図		
A-10	特記仕様書 (8)	A-50	2階 平面詳細図 1	A-90	懸垂幕昇降装置詳細図	S-10	エルマッドS工法 特記仕様書		
A-11	特記仕様書 (9)	A-51	2階 平面詳細図 2	A-91	UB (ユニットバス) 仕様書・詳細図	S-11	土質柱状図 (1)		
A-12	使用材料認定番号表	A-52	2階 展開図 (事務室・ワゴン室)	A-92	サイン・ユニット配置図	S-12	土質柱状図 (2)		
A-13	欠番	A-53	2階 展開図 (洗面室・男子WC・倉庫 (備蓄))	A-93	サインリスト	S-13	基礎伏図		
A-14	用地実測図・求積表・測地系変換・ST計算	A-54	2階 展開図 (男子仮眠室1～8)	A-94	WB等 ユニットリスト	S-14	基礎リスト		
A-15	床面積・建築面積求積図・算定表	A-55	2階 展開図 (女子エリア)	A-95	標準詳細図	S-15	基礎梁リスト		
A-16	各室面積求積図・LVS算定表1	A-56	3階 平面詳細図 1	A-96	内部詳細図	S-16	基礎雑リスト		
A-17	LVS算定表2	A-57	3階 平面詳細図 2	A-97	外部詳細図	S-17	1階柱2階床梁伏図		
A-18	地盤面算定図表	A-58	3階 展開図 (緊急消防援助隊活動拠点 (会議室))	A-98	外構配置図・植栽工事計画図	S-18	Z0+4, 780伏図		
A-19	仕上表1	A-59	3階 展開図 (収納倉庫・電気・機械室)	A-99	外構部分詳細図 1	S-19	2階柱3階床梁伏図		
A-20	仕上表2	A-60	3階 展開図 (食堂・調理室)	A-100	外構部分詳細図 2	S-20	3階柱R階床梁伏図		
A-21	仕上記号表	A-61	3階 展開図 (浴室・脱衣室)	A-101	外構部分詳細図 3	S-21	軸組図 (1)		
A-22	付近見取図・配置図 兼 1階平面図	A-62	3階 展開図 (洗濯室・乾燥室・男子・女子WC)	A-102	等時間日影図	S-22	軸組図 (2)		
A-23	2・3階平面図・屋根伏図	A-63	1～3階 展開図 (廊下・階段 1)	A-103	時刻日影図	S-23	軸組図 (3)		
A-24	欠番	A-64	1～3階 展開図 (廊下・階段 2)	A-104	仮設計画図 (基礎工事)	S-24	軸組図 (4)		
A-25	止水ロープ位置図	A-65	主屋根 平面詳細図	A-105	仮設計画図 (地上工事)	S-25	軸組図 (5)		
A-26	設備用ビット伏図	A-66	カーテン・ブラインド類集計表	A-106	造成計画平面図	S-26	軸組図 (6)		
A-27	立面図	A-67	建具配置図	A-107	防火区画図 (参考図)	S-27	軸組図 (7)		
A-28	断面図	A-68	金属製建具リスト 1	A-108	排煙区画図 (参考図)	S-28	鉄骨部材リスト (1)		
A-29	天井伏図	A-69	金属製建具リスト 2		建築意匠図～END	S-29	鉄骨部材リスト (2)		
A-30	矩計図 1	A-70	金属製建具リスト 3			S-30	鉄骨部材リスト (3)		
A-31	矩計図 2	A-71	金属製建具リスト 4			S-31	鉄骨架構詳細図		
A-32	矩計図 3	A-72	金属製建具リスト 5			S-32	雑詳細図		
A-33	矩計図 4	A-73	金属製建具リスト 6				建築構造図～END		
A-34	矩計図 5	A-74	金属製建具リスト 7						
A-35	矩計図 6-1	A-75	木製建具リスト						
A-36	矩計図 6-2	A-76	家具・消防備品・消火器BOX 配置図						
A-37	矩計図 7-1	A-77	家具特記仕様書						
A-38	矩計図 7-2	A-78	家具リスト 1						
A-39	1階 平面詳細図 1	A-79	家具リスト 2						
A-40	1階 平面詳細図 2	A-80	家具リスト 3						

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
稲見	澤田	大下	濱口
		松本	

高知市東消防署三里出張所新築工事		
建築意匠図	図 面 目 次	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/	SHEET NO. A-1
(株) A S A 設 計 事 務 所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (R) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大臣登録第196852号	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY
田 中 健 一		

工事区分表

※ 設計図中に特記無き場合は下表に副った工事区分とする。

適用	項	目	建築	電気	機械 給排水 空調		別途	備考	適用	項	目	建築	電気	機械 給排水 空調		別途	備考	適用	項	目	建築	電気	機械 給排水 空調		別途	備考
○	機械基礎（コンクリート直均し若しくは仕上モルタル迄）		○							ドアーガラリー（グリル）又はアンダーカット		○						○	発電機本体と制御線工事			○				
○	同上	アンカー・シール その他		○	○	○				PW（可動間仕切）付のスイッチ、コンセントの開口補強		○	←	←	←		一印から支給	○	発電機燃料用地下タンク用コンクリートビット及び防水			○				
○	キュービクル、自家発電機等の基礎		○					アンカー・シールは 機械基礎に準ずる		PW（可動間仕切）付の空調吹出口、スイッチ、コンセントの開口補強		○	←	←	←		一印から支給	○	同上スラブへ設置のマンホール				○			
○	点検口（天井、床下、パイプ及びダクトシャフト共）		○							ハンズフリー認証システム		○					建具	○	発電機燃料用地下タンク本体及び乾燥保護砂				○			
○	各種設備配管貫通部の墨出し			○	○	○				制御盤からセンサーまでの配管・配線		○					建具		ドラフトチャンバー 一式（2次側接続工事共）				○			
	鉄骨梁貫通スリーブ及び穴明、補強		○							電気錠本体・制御盤・電気錠本体から制御盤までの配管・配線		○							同上1次側電源送り				○			
○	RＣ梁貫通の補強		→	○	○	○		一印から支給		電気錠本体までの電源送り			○						視聴覚室の机、椅子等				○			
○	RＣ梁貫通スリーブ及び穴明け			○	○	○				エンジンドア及び制御盤、操作スイッチ		○							化粧戸棚、窓下戸棚、吊戸棚等、特注家具				○			
○	床、壁貫通スリーブ及び穴明：はつり（スリーブ箱入共）			○	○	○				同上操作用配管配線工事（2次側）		○							図示以外の机、椅子、応接セット、家電製品等、可動の既製品					○		図中点線表示
○	梁貫通及び床、壁貫通穴詰め及び補修			○	○	○				同上電源送り配管配線工事（1次側）		○							実験台（コンセント共）				○			
○	軽鉄下地間仕切設備機器の取付補強			○	○	○				電動シャッター・電動オーバードア類本体及び操作用配管配線工事（2次側）		○							同上電源接続				○			
○	軽鉄下地間仕切設備機器の壁貫通穴明け			○	○	○				同上電源送り配管配線工事（1次側）			○						同上給排水、ガス接続					○		
○	天井仕上材切込み			○	○	○				○カーテンボックス及びブラインドボックス		○							同上排気管接続					○		
○	天井捨張材切込み			○	○	○				○カーテンレール		○							○消火器					○		
○	天井下地材開口補強		○							○カーテン		○							○同上埋込ボックス				○			
○	天井芯出し		○							○ブラインド類（ロールカーテン含む）		○							同上埋込ボックス（消火栓箱一体型）					○		
○	湧水ビット、二重スラブの連通管、通気管		○							電動スクリーン及びびスクリーンBOX		○							救助袋、避難用滑り台等の避難器具				○			
○	同上 点検口、タラップ		○							電動スクリーン、電動暗幕、電動ブラインドの操作用配管配線工事（2次側）		○							屋内消火栓					○		
	建物内雨水排水（内樋）				○					同上の電源送り用配管配線工事（1次側）			○													
○	建物外雨水排水（縦樋）		○																EⅤ、リフト一式、3方枠、取付け調整、制御盤含む				○			
○	同上より雨水第一会所迄の接続配管				○					○中央警報盤組込の計器類及び各種表示窓			○						同上躯体開口、石・押し釘穴明け及びヌスミ、上記付属部材廻りモルタル詰め				○			
○	側溝（排水）への接続（雨水系統）				○					防火戸用煙感知器運動装置			○						同上電源送り配管配線工事					○		
	公共下水道への接続				○					同上用煙感知器の取付け、配管、配線工事（制御関係含む）			○						同上インターホン工事					○		
○	雨水排水及び同会所				○					○排煙口用手動開放装置（表示接点付）			○						同上昇降路の内外配管配線工事					○		
○	雑排水樹及び雨水会所への接続				○					○同上用電気配管、配線（制御関係含む）			○						同上機器室内受電盤への電源供給					○		
○	排水樹				○					○換気扇（ダクト無し、ダクト接続型）器具及び取付け				○					同上室内換気扇及び電源送り					○		
○	浴槽（ポリバス、ユニットバス、シャワーユニット）		○					据付とも		○同上取付枠（木製、銅製、サッシュ加工共）			○						同上吊込み用フックの設置				○	←		一印から支給
○	同上用接続配管工事				○					○空調設備制御盤及び2次側電気配管配線工事（接地含む）				○					昇降路の築造及びビットの防水				○			
○	コンロ台上部排気フード（化粧カバー、SUS内張り）				○					○同上への電源送り			○						同上ビットの排水					○		
○	コンロ台上部換気扇排気ダクトウエザーカバー				○					○厨房機器1式（冷蔵庫、保管庫、調理台、バーナー、シンク 等）			○				給排水・給湯設備 配管の接続共		最頂部感知器取付け用点検口				○			
	流し台（造り付け）		○							○同上1次側電気配管配線工事			○													
	同上給水、排水、ガス配管用穴明け		○							○一般電動機及び同据付け				○	○				○ホイスト又はクレーン本体（ビーム及びサドル共）					○		
	同上排水金物（トラップ類）		○							○一般制御盤と電動機端子迄の電気配管、配線工事（接地を含む）			○					○走行レール					○			
○	流し台（既製品）		○							○液面電極棒の取付け座（水槽）				○					○ホイスト又はクレーン1次側電源送り					○		
○	同上排水金物（トラップ類）		○							○各種満水警報及び液面電極棒の取付け				○	○				○同上用 2次側電源送り					○		ホイスト又はクレーン 工事に含む
○	同上給排水管の接続				○					○同上用電気配管配線工事				○	○											
○	流し類・ガスコンロ類（厨房機器）の水栓、排水金物、配管接続				○														○消防署用 ホースラック、ボンベラック、銅製棚類				○			
○	流し（陶器製）・手洗（陶器製）・洗面カウンター				○			下地補強とも											○同上用 ホースリフター一式（吊込み用フック共）、レンジャーネット一式				○			
○	同上 排水金物				○														○同上用 1次側電源送り				○			
○	洗面化粧台				○														○同上用 2次側電源送り				○			リフター・ネット 工事に含む
○	化粧鏡（既成品）				○														同上用 消毒機器					○		
	化粧鏡（上記以外の物）		○																							
	化粧棚及び小便器隔板（陶器製の既製品）				○			下地補強とも																		
○	化粧棚及び小便器隔板（上記以外の物）		○					同上			消火用機器及び取付け調整			○					○各種銘板				○	○	○	○
○	WC内の手摺				○			同上			同上用制御盤への電源送り			○					○電力引込負担金							○
	WC内の折畳み式ベッド・フィッティングボード・ベビーシート（Hチェア共）				○			同上		○	同上用火災受信盤及び制御盤迄の電気配管配線工事			○					○上下水道、ガス引込負担金							○
○	壁・天井付け設備機器の下地補強			○	○	○													○電波障害調査及び対策に関する協力				○			障害が生じた場合
○	バリアフリービット・浴室排水ビット及び溝蓋		○								外部用配管ビット（蓋共）、トレンチ類		○	○	○	○		図示による	○法規外の騒音対策工事				○	○	○	同上
○	同上排水金物（目皿・トラップ類）				○						外部コンクリート床ビット								○室内空気中の化学物質濃度の削減対策（厚生労働省基準）				○	○	○	全業者の協力が不可欠
	厨房・救急消毒室等のSUS製衛生ビット及び溝蓋（カゴ・排水金物含む）		○					床ドライシステムを 含む			同上内装仕上げ及び蓋								○同上の測定（同上）				○			同上
	同上以降の排水設備（接続含む）				○			同上											○同上測定結果が基準値を上回った場合の改善策				○	○	○	同上
○	玄関マット・水切マット		○					床モルタルとも		○	山留類の貫通		○	○	○	○			○試運転立会、官庁検査立会（県、市、消防署等）				○	○	○	
○	同上目皿以降の排水設備				○														○建築主事検査立会				○	○	○	
○	水廻り設備機器の取合いシール			○	○	○																				
○	水廻り建築部材の取合いシール		○																							
	自然換気用外壁取付ガラリ（外気取入れ、排気等）		○																							
○	機械換気用外壁取付ガラリ（外気取入れ、排気等）					○																				
○	リターングリル（銅製の既製品FS共）					○																				
	リターングリル（同上以外の化粧用の物、FS共）		○																							

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
田中	Y.	戸田	K.

高知市東消防署三里出張所新築工事			
建築・設備共通	工事区分表		
DATE/ 2025/6/30	SCALE/	SHEET NO	A-2
(株) A S A 設計事務所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD			
TEL (088) 822-5797 (代)			
FAX (088) 822-5799			
一級建築士大田登録第196852号			
DRAWN BY K. 田中 Y. 戸田			
田中 健一			
CHECKED BY			

[illegible]

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項				
④	工事用水・電力	構内既存の施設(用水)	・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない	5	鋼杭地業	材料	(4.4.3)(表4.4.1)			
		構内既存の施設(電力)	・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない			・ 鋼管ぐい 種類の記号(・ SKK400 ・ SKK490) ・ H形鋼ぐい 種類の記号(・ SHK400 ・ SHK490M) 寸法 ※ 図示 工法 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法)	(4.3.3)(4.3.5)			
		構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送配電株式会社などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。								
⑤	仮囲い	※ 図示		6	場所打ち コンクリート杭地業	掘削工法	・ アースドリル工法 (安定液 ※ 使用する ・ 使用しない) (4.5.1)(4.5.5) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法(孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない) 併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.1)(4.5.6) ・ 協底杭工法 (安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) 帯筋の加工及び組立て： ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm ・ 図示 (4.5.4) 鉄筋かごの補強 ※ 図示 ・ (4.5.4) 鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 ・ (4.5.4) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 ・ (4.5.4) コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 ・ (4.5.4) コンクリートの種別 ※ 表4.5.1による ・ (4.5.4) スランブ ※ 18cm ・ (4.5.4) 構造体強度補正值(S) ※ 3N/mm2 ・ (4.5.4) 鋼管(鋼管部分の材料) ※ 図示 (4.5.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (4.5.4～4.5.5) 孔壁の確認 ・ 行う(超音波測定器による) ・ 行わない (4.5.4～4.5.5) 杭の精度： 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・			
⑥	仮設備撤去後の 整地・跡片付け	※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ () (2.4.1)				杭の継手の工法 ※ 図示 ・ (4.4.5) ・ 杭頭処理 杭頭の切断方法 ※ ガス切断 ・ 図示 (4.4.6)				
土工事		種別 ・ A種(水締めのみく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種				併用する工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.1)(4.5.6) ・ 協底杭工法 (安定液 ・ 使用する ・ 使用しない) 帯筋の加工及び組立て： ※ 図示 (4.5.4) 鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 100mm ・ 図示 (4.5.4) 鉄筋かごの補強 ※ 図示 ・ (4.5.4) 鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 ・ (4.5.4) セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 ・ (4.5.4) コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 ・ (4.5.4) コンクリートの種別 ※ 表4.5.1による ・ (4.5.4) スランブ ※ 18cm ・ (4.5.4) 構造体強度補正值(S) ※ 3N/mm2 ・ (4.5.4) 鋼管(鋼管部分の材料) ※ 図示 (4.5.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (4.5.4～4.5.5) 孔壁の確認 ・ 行う(超音波測定器による) ・ 行わない (4.5.4～4.5.5) 杭の精度： 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・				
①	埋戻し及び盛土	種別 ・ A種(水締めのみく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種		7	砂利及び砂地業	材料	(4.6.2)			
②	建設発生土の処理	※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調書等を提出する) ・ 受入れ施設名： ・ 受入れ場所： ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-hannsyutusaki.html)				砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ※ 再生クラッシュヤラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・ 山砂 ・ 川砂又は砕砂 厚さ ◎ 図示 ※ 60mm (4.6.3)				
③	山留め	山留め工法 ◎ 親杭横矢板工法 山留めの撤去 ※ 撤去する ◎ 存置する (3.3.3)				コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ 18cm スランブ ※ 15cm ・ 厚さ ※ 50mm ◎ 図示 (4.6.4)				
地業工事		位置、本数、寸法 ※ 図示 ・ (4.2.2) 杭の種類 ※ 本杭 ・		8	捨コンクリート地業	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm2 ・ 18cm スランブ ※ 15cm ・ 厚さ ※ 50mm ◎ 図示 (4.6.4)				
1	試験杭	試験の種類 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計G Lより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・				施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (4.6.5) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・ 図示 ◎ ポリエチレンフィルムの厚さ ※ 0.15mm 構造図参照				
2	杭の載荷試験	試験の種類 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 (4.2.3) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計G Lより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・				⑩	地盤改良	鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1) 種類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ◎ SD295 D16以下 図示 ◎ SD345 D19～25 図示 ◎ SD390 D29 図示 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)		
3	地盤の載荷試験	試験の種類 ※ 平板載荷試験 ・ (4.2.4) 試験位置 ()箇所 ※ 図示 ・ 試験深さ ・ 設計G Lより()m 試験対象土質 ・ 最大荷重 ・ ()t 試験の方法及び報告書の記載事項 ※ 図示 ・		①	鉄筋の種類	種類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ◎ SD295 D16以下 図示 ◎ SD345 D19～25 図示 ◎ SD390 D29 図示 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)				
4	既製コンクリート杭地業	杭の種類 ※ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) (4.3.3) ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 ・ 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 ・ (4.3.3) 杭先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ深さ： ※ 図示 ・ 杭の精度： 水平方向の位置ずれ寸法 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・ ・ 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 工法： 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 杭の根入れ長さ： ※ 図示 ・ (表5.3.4)(5.3.4(5)) 杭の精度： 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・ 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.6) ・ 機械式継手 (工法： ※ 性能評価された工法 ・ ・ 杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター (4.3.8)		②	溶接金網等	規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)				
鉄筋工事		種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 図示 ・ (4.3.3) 寸法及び継手の箇所数 ※ 図示 ・ (4.3.3) 杭先端部の形状 ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形 ※ 図示 (4.3.3) 工法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ 掘削深さ及び杭の支持層への根入れ深さ： ※ 図示 ・ 杭の精度： 水平方向の位置ずれ寸法 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・ ・ 特定埋込杭工法(建築基準法認定工法) (4.3.3)(4.3.5) 工法： 支持層の位置及び土質： ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 杭の根入れ長さ： ※ 図示 ・ (表5.3.4)(5.3.4(5)) 杭の精度： 水平方向の位置ずれの精度 ・ 杭径の1/4かつ100mm以内 ・ 傾斜 ・ 1/100以内 ・ 杭の継手工法 ※ アーク溶接 (4.3.6) ・ 機械式継手 (工法： ※ 性能評価された工法 ・ ・ 杭頭の処理 杭頭の切断方法 ※ ダイヤモンドカッター (4.3.8)		③	鉄筋の継手及び定着	種類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ◎ SD295 D16以下 図示 ◎ SD345 D19～25 図示 ◎ SD390 D29 図示 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)				
④		鉄筋のかぶり厚さ		④	鉄筋のかぶり厚さ	種類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ◎ SD295 D16以下 図示 ◎ SD345 D19～25 図示 ◎ SD390 D29 図示 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)		⑤	各部の配筋	種類 の 記 号 呼 び 名 使 用 箇 所 ◎ SD295 D16以下 図示 ◎ SD345 D19～25 図示 ◎ SD390 D29 図示 ・ SD490 ・ SR235 ・ SR295 規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ◎ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 (◎ 150×150 ◎ 50×50) 鉄線の径(mm) (◎ 6φ ◎ 3.2φ) 継手 (5.3.4)(表5.3.2～表5.3.3) 部 位 継 手 方 法 呼 び 名 柱・梁の主筋 ※ ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 D19以上 耐力壁の鉄筋 ※ 重ね継手 ・ D16以下 その他 ※ 重ね継手 ・ D16以下 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所に設ける場合 ※ 図示 ・ (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.2)(5.3.4(3)) 鉄筋の定着の長さ ※ 表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示 ※ 表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。 (5.3.5) 施 工 箇 所 等 表5.3.6の値に加える数値(mm) 柱、梁、壁及び底等の外気に接する打増し面 ※ 10 ◎ 図示 ・ 軽量コンクリートで主に接する部分の最小かぶり厚さ (5.3.5) 表5.3.6の値に加える数値(mm) () ・ 機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 ・ (5.3.7)

[illegible]

項目

特記事項

⑫自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置
性能値 ※表16.9.1による
種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ○DSDL-2
バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置 (16.9.2)(表16.9.2)
性能値 ※表16.9.2による
バリアフリートイレスイッチの開閉スイッチ ※押しボタン ・非接触 (16.9.3)(表16.9.4)
戸の開閉方式 ○図示 ・片引き ・引分け ・片開き (16.9.3)
引き戸用検出装置 (16.9.2)(表16.9.3)
性能値 ※表16.9.3による
種類 ○光線(反射)スイッチ ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ
・タッチスイッチ(・無線式 ・光電式) ○キックスイッチ
防錆 ・適用する(塩害のおそれのある場合) ※適用しない
凍結防止措置 ・行う
製造所 評価名簿による

⑬自閉式上吊り引戸装置

性能 ※表16.10.1による
製造所 評価名簿による (16.10.3)(表16.10.1)

14重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度(N/m2) (16.11.2)
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度(N/m2)
・屋内用防火シャッター
・防塵シャッター
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 (16.11.2)(表16.11.1)
急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示
障害物感知装置の設置箇所 ※図示
危害防止機構の設置箇所 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの
ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3.(1))
製造所 評価名簿による

15軽量シャッター

開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度(N/m2)
電動シャッターに設ける自動的に停止する機能を有する障害物感知装置の設置箇所 ※図示
スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※A290を満足するもの
スラットの種類 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 (16.12.4)
製造所 評価名簿による

⑯オーバーヘッドドア

セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分
※ スチールタイプ ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・50
・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ○ ローヘッド形 ○ ステンレス鋼板 ・75
・ フォイバークラスタイプ ・ 電動式 ○ ハイリフト形 ・100
○ コンビネーションタイプ ・ パーチカル形 ○ 125
電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示
製造所 評価名簿による

⑰ガラス

ガラスの種類及び厚さ 摘要
・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※図示(製作所は評価名簿による)
※その他のガラス ※図示
ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による (16.14.2)(表16.14.3)

⑱ガラス留め材

種別 (16.14.2)
建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
樹脂製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングビード
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
木製 ※シーリング材 ・押縁留め
シーリング材 ※SR-1 (表9.7.1)

19ガラスブロック積み

ガラスブロック材料 (16.14.5)
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 防火性能
壁用金属枠及び補強材 力骨 図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム
材質 寸法 形状
※ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5mm ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色(金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形状 ※図示
工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示
目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※図示

20建築窓ガラス用フィルム

名称 種類、記号
※ガラス飛散防止フィルム ※G-I-1、GD-1 ・G-I-2、GD-2
品質 JIS A 5759による
○簡易的な目隠しを目的としたグラデーションフィルムとする 公表価格 8000円/㎡程度

項目

特記事項

カーテンウォール工事

1カーテンウォールの性能
性能値 (17.1.2~17.1.3)
耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性(時間) 遮音性 断熱性 耐温度差性(℃) 結露水処理
・S-4 水平方向 ※W-4 ※A-3 ・T-1 ・H-1 ・80
※S-5 ※1.0(kH) ・W-3 ※A-4 ・T-2 ・H-2 ・70
・S-6 鉛直方向 ※A-5 ・T-3 ・H-3 ・60
・ ※0.5(kv) ・T-4 ・H-4
・ ※0.5(kv) ・H-5
性能の確認方法及び判定方法 ※17.1.3(3)による (17.1.3)
金属系材料の種類 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 (17.2.2)
シーリング材 ※MS-2 (17.2.2)(表9.7.1)
見え掛り部分の仕上げ (17.2.3)
製品取付け位置の寸法許容差 ※表17.2.1~3による (17.2.3)
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による
※シーリング材(種類: ※SR-2 ・SR-1) (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1)
・構造ガasket (形状: 寸法:)
・ポリウレタン ・ポリスチレン ・グラスウール (17.2.2)

2塗装工事

①材料
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする。 (18.1.3)
防火材料 ○屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする (18.1.3)
・次の箇所を除き、防火材料とする 箇所:
②素地ごしらえ (18.2.2~18.2.7)(表18.2.1~表18.2.7)
下地面等 種別
木部 不透明塗料塗り ※A種 ・B種
透明塗料塗り ・A種 ※B種
鉄鋼面 耐候性塗料塗り(DP)の場合 ・A種 ※B種 ・C種
上記以外の場合 ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき鋼面 ・A種 ○B種
モルタル面及びせつこうプラスター面 ・A種 ※B種
コンクリート・ALCパネル面(DPを除く) ・A種 ※B種
コンクリート(DP)・押出成形セメント板面 ・A種 ○B種
せつこうボード面(継目処理工法) ※A種 ・B種
せつこうボード面(継目処理以外) ・A種 ※B種 (18.3.2~18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)
鉄鋼面 下地面等 錆止め塗料の種別 工種の種別
見え掛り部分 SOP A種 ・B種
DP 1回目 C種 表18.3.4による
2、3回目 D種
EP-G ・A種 ※B種 ※A種 ・B種
・A種 ※B種
見え隠れ部分 SOP 1回目 C種 表18.3.4による
2、3回目 D種
EP-G ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
鋼製建具等 SOP ※A種 ・B種 ※A種 ・B種
DP B種 表18.3.6による
EP-G C種 ※A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面 SOP ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
DP B種 表18.3.6による
EP-G C種 ・A種 ※B種

④塗装の略号及び塗り種別等

略号 塗装 種別
・SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 屋外 木部 屋内 ※A種 ・B種
鉄鋼面 ・A種 ※B種
亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による
・CL クリヤラッカー塗り ・A種 ※B種
・NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り ・A種 ※B種
鉄鋼面 上塗り塗料等級・1級 ・2級 ○3級
亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料等級・1級 ・2級 ○3級
コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種
コンクリート面 ・A種 ※B種
モルタル・プラスター面 ・A種 ※B種
ボード面 ・A種 ※B種
木部 表18.8.2による
屋内の鉄鋼面 ・A種 ※B種
屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による
・A種 ※B種
・EP 合成樹脂エマルションペイント塗り ・A種 ※B種
・UC ウレタン樹脂ワニス塗り
・ステイン塗り ビグメントステイン塗り
・OS オイルステイン塗り
・WP 木材保護塗料塗り ・A種 ※B種
塗料の種類等
CL塗りの種別がA種の場合における着色塗料の種類 (表18.5.2)
UC塗りの着色工程の適用 ※適用しない ・適用する (表18.10.1)
OS塗りの仕様 ・図示 (表18.11.2)

内装工事

①ビニル床シート張り
種類 種類 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 備考
※FS ○無地 ※2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・マブ #柄 ・防汚性 ・耐薬品性 3000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○防カビ性 ○耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・砂状多彩色 ・防汚性 ○抗菌性 6000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○防カビ性 ○衝撃吸収性 仕上表参照 公表価格
○KS ○コルク柄 ○防炎性 ○消臭性 ○抗菌性 3000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ・帯電防止 ○耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
○HS ○ディンプル柄 ・防汚性 ○抗菌性 4500円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○耐熱性 ・耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・多彩色 ○防汚性 ・耐薬品性 3500円/㎡程度
接合部の処理 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:)
帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度

項目

特記事項

②ビニル床タイル張り

種類 種類 色柄 寸法 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所
※KT ○柄物 ※300×300 ※2.0 ・帯電防止 ・防汚性 倉庫、物置に適する室
・TT ○FT ○柄物 ○150×900 ・2.0 ○3.0 ・帯電防止 ・防汚性 3階食堂
○FOA ・FOB ○柄物 ○500×500 ○4.0 ○帯電防止○防炎性○抗菌性 2階事務室
帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度
公表価格 ビニル床タイルB: 8500円/㎡程度 ビニル床タイルC: 4500円/㎡程度

③誘導用床材及び警告用床材

種 類 寸 法(mm) 厚 さ(mm) 備 考
・レジンコンクリート系 ※300×300 ※30 ※JIS T 9251適合品
・タイル系 ・60
○塩化ビニル系 ※300×300 ※図示

④ビニル幅木

材 種 厚 さ(mm) 高 さ(mm) 備 考
※軟質 ・硬質 ※1.5 60 75 100

5ゴム床タイル張り

色 柄 種 類 厚 さ(mm) 寸 法(mm) 備 考
・単層 ・複層 ・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0

⑥カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2)(表19.3.1)
織り方 バイル形状 帯電性 品質(公表単価(円/㎡))
・タイルカーペット ・カットバイル ・人体帯電圧 3kV以下
・タフフェスカーペット ・ループバイル
・タキシタカーペット ・カット、ループ併用
色柄、バイル糸の種類
※模様のない無地のもの 種別(・A種 ・B種 ・C種) (19.3.1)
・タフテッドカーペット (19.3.2~19.3.3)(表19.3.2)
バイル形状 バイル長 工 法 帯電性 品質(公表単価(円/㎡))
・カットバイル ※全面接着工法 ・人体帯電圧 3kV以下
・ループバイル ・グリッパー工法
・レペルループバイル ・カット、ループ併用
○タイルカーペット (19.3.3)
種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質(公表単価(円/㎡))
※第一種 ・カットバイル ※ループバイル ・500×500 ※6.5
※第二種 ・カットバイル、ループ併用 ・7.0 7,800円程度
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し (19.3.3)
階段部分 ※模様流し ・市松敷き
下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号、呼び厚さ 8.0mm (19.3.2)
取付け用付属品 見切り ※(材質 種類 形状) ・図示 (19.3.3)
押え金物 ※(材質 種類 形状) ・図示

⑦合成樹脂塗床

種別 施工箇所 工法 仕上げの種類
・厚膜型塗床材 ※図示 ・ ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ
弾性ウレタン樹脂系塗床材 ・ つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ※図示 ・薄膜流しのべ工法 ・平滑仕上げ
エポキシ樹脂系塗床材 ・ 厚膜流しのべ工法 ・防汚仕上げ
・樹脂モルタル工法
○薄膜型塗床材 ※図示 ※平滑仕上げ
塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (19.4.2)

⑧フローリング張り

単層フローリング (19.5.2~19.5.5)(表19.5.1~表19.5.6)
種類 工法 厚さ(mm) 樹 種 備 考
・フローリングボード1等 ・釘留め工法(根太張り) ※15 ※なら
・釘留め工法(直張り) ・12
・接着工法 ・8
・フローリングブロック1等 ・接着工法 ※15 ※なら
フローリングボードの幅及び長さ ※表19.5.1、表19.5.3、表19.5.5による
フローリングブロックの大きさ ・300×300 ・303×303
複合フローリング(集成フローリング)
工法 種別 厚さ(mm) 樹 種 備考
・釘留め工法(根太張り) ・A種 ○12 ※なら
○釘留め工法(直張り) ・B種 ○15 ○桧
・接着工法 ※C種 (ひき板の厚さ) ○12mm 無節
・3mm以上 塗装品
※表19.5.4 塗装品
フローリングの大きさ ※表19.5.2、表19.5.4、表19.5.6による
接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート (19.5.5)
塗装 ○工場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り
・現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種
・オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・生地のままワックス塗り (自然塗料)
複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの (19.5.2)
種別 ※D種(畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) (19.6.2)(表19.6.1)
・衝撃緩和型畳 畳表 ・C1 ・C2

⑨畳敷き

畳敷き

項目

特記事項

⑫自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置
性能値 ※表16.9.1による
種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ○DSDL-2
バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置 (16.9.2)(表16.9.2)
性能値 ※表16.9.2による
バリアフリートイレスイッチの開閉スイッチ ※押しボタン ・非接触 (16.9.3)(表16.9.4)
戸の開閉方式 ○図示 ・片引き ・引分け ・片開き (16.9.3)
引き戸用検出装置 (16.9.2)(表16.9.3)
性能値 ※表16.9.3による
種類 ○光線(反射)スイッチ ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ
・タッチスイッチ(・無線式 ・光電式) ○キックスイッチ
防錆 ・適用する(塩害のおそれのある場合) ※適用しない
凍結防止措置 ・行う
製造所 評価名簿による

⑬自閉式上吊り引戸装置

性能 ※表16.10.1による
製造所 評価名簿による (16.10.3)(表16.10.1)

14重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度(N/m2) (16.11.2)
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度(N/m2)
・屋内用防火シャッター
・防塵シャッター
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 (16.11.2)(表16.11.1)
急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示
障害物感知装置の設置箇所 ※図示
危害防止機構の設置箇所 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの
ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3.(1))
製造所 評価名簿による

15軽量シャッター

開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度(N/m2)
電動シャッターに設ける自動的に停止する機能を有する障害物感知装置の設置箇所 ※図示
スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※A290を満足するもの
スラットの種類 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 (16.12.4)
製造所 評価名簿による

⑯オーバーヘッドドア

セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分
※ スチールタイプ ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・50
・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ○ ローヘッド形 ○ ステンレス鋼板 ・75
・ フォイバークラスタイプ ・ 電動式 ○ ハイリフト形 ・100
○ コンビネーションタイプ ・ パーチカル形 ○ 125
電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示
製造所 評価名簿による

⑰ガラス

ガラスの種類及び厚さ 摘要
・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※図示(製作所は評価名簿による)
※その他のガラス ※図示
ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による (16.14.2)(表16.14.3)

⑱ガラス留め材

種別 (16.14.2)
建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
樹脂製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングビード
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
木製 ※シーリング材 ・押縁留め
シーリング材 ※SR-1 (表9.7.1)

19ガラスブロック積み

ガラスブロック材料 (16.14.5)
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 防火性能
壁用金属枠及び補強材 力骨 図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム
材質 寸法 形状
※ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5mm ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色(金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形状 ※図示
工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示
目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※図示

20建築窓ガラス用フィルム

名称 種類、記号
※ガラス飛散防止フィルム ※G-I-1、GD-1 ・G-I-2、GD-2
品質 JIS A 5759による
○簡易的な目隠しを目的としたグラデーションフィルムとする 公表価格 8000円/㎡程度

項目

特記事項

カーテンウォール工事

1カーテンウォールの性能
性能値 (17.1.2~17.1.3)
耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性(時間) 遮音性 断熱性 耐温度差性(℃) 結露水処理
・S-4 水平方向 ※W-4 ※A-3 ・T-1 ・H-1 ・80
※S-5 ※1.0(kH) ・W-3 ※A-4 ・T-2 ・H-2 ・70
・S-6 鉛直方向 ※A-5 ・T-3 ・H-3 ・60
・ ※0.5(kv) ・T-4 ・H-4
・ ※0.5(kv) ・H-5
性能の確認方法及び判定方法 ※17.1.3(3)による (17.1.3)
金属系材料の種類 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 (17.2.2)
シーリング材 ※MS-2 (17.2.2)(表9.7.1)
見え掛り部分の仕上げ (17.2.3)
製品取付け位置の寸法許容差 ※表17.2.1~3による (17.2.3)
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による
※シーリング材(種類: ※SR-2 ・SR-1) (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1)
・構造ガasket (形状: 寸法:)
・ポリウレタン ・ポリスチレン ・グラスウール (17.2.2)

2塗装工事

①材料
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする。 (18.1.3)
防火材料 ○屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする (18.1.3)
・次の箇所を除き、防火材料とする 箇所:
②素地ごしらえ (18.2.2~18.2.7)(表18.2.1~表18.2.7)
下地面等 種別
木部 不透明塗料塗り ※A種 ・B種
透明塗料塗り ・A種 ※B種
鉄鋼面 耐候性塗料塗り(DP)の場合 ・A種 ※B種 ・C種
上記以外の場合 ・A種 ・B種 ※C種
亜鉛めっき鋼面 ・A種 ○B種
モルタル面及びせつこうプラスター面 ・A種 ※B種
コンクリート・ALCパネル面(DPを除く) ・A種 ※B種
コンクリート(DP)・押出成形セメント板面 ・A種 ○B種
せつこうボード面(継目処理工法) ※A種 ・B種
せつこうボード面(継目処理以外) ・A種 ※B種 (18.3.2~18.3.3)(表18.3.1~表18.3.4)
鉄鋼面 下地面等 錆止め塗料の種別 工種の種別
見え掛り部分 SOP A種 ・B種
DP 1回目 C種 表18.3.4による
2、3回目 D種
EP-G ・A種 ※B種 ※A種 ・B種
・A種 ※B種
見え隠れ部分 SOP 1回目 C種 表18.3.4による
2、3回目 D種
EP-G ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
鋼製建具等 SOP ※A種 ・B種 ※A種 ・B種
DP B種 表18.3.6による
EP-G C種 ※A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面 SOP ・A種 ※B種 ・A種 ※B種
DP B種 表18.3.6による
EP-G C種 ・A種 ※B種

④塗装の略号及び塗り種別等

略号 塗装 種別
・SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 屋外 木部 屋内 ※A種 ・B種
鉄鋼面 ・A種 ※B種
亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による
・CL クリヤラッカー塗り ・A種 ※B種
・NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り ・A種 ※B種
鉄鋼面 上塗り塗料等級・1級 ・2級 ○3級
亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料等級・1級 ・2級 ○3級
コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・A種 ・B種 ・C種
コンクリート面 ・A種 ※B種
モルタル・プラスター面 ・A種 ※B種
ボード面 ・A種 ※B種
木部 表18.8.2による
屋内の鉄鋼面 ・A種 ※B種
屋内の亜鉛めっき鋼面 表18.8.4による
・A種 ※B種
・EP 合成樹脂エマルションペイント塗り ・A種 ※B種
・UC ウレタン樹脂ワニス塗り
・ステイン塗り ビグメントステイン塗り
・OS オイルステイン塗り
・WP 木材保護塗料塗り ・A種 ※B種
塗料の種類等
CL塗りの種別がA種の場合における着色塗料の種類 (表18.5.2)
UC塗りの着色工程の適用 ※適用しない ・適用する (表18.10.1)
OS塗りの仕様 ・図示 (表18.11.2)

内装工事

①ビニル床シート張り
種類 種類 色柄 厚さ(mm) 特殊機能 施工箇所 備考
※FS ○無地 ※2.0 ・帯電防止 ・耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・マブ #柄 ・防汚性 ・耐薬品性 3000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○防カビ性 ○耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・砂状多彩色 ・防汚性 ○抗菌性 6000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○防カビ性 ○衝撃吸収性 仕上表参照 公表価格
○KS ○コルク柄 ○防炎性 ○消臭性 ○抗菌性 3000円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ・帯電防止 ○耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
○HS ○ディンプル柄 ・防汚性 ○抗菌性 4500円/㎡程度
※FS ※無地 ※2.0 ○耐熱性 ・耐動荷重性 仕上表参照 公表価格
・多彩色 ○防汚性 ・耐薬品性 3500円/㎡程度
接合部の処理 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:)
帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度

項目

特記事項

⑫自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置
性能値 ※表16.9.1による
種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ○DSDL-2
バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置 (16.9.2)(表16.9.2)
性能値 ※表16.9.2による
バリアフリートイレスイッチの開閉スイッチ ※押しボタン ・非接触 (16.9.3)(表16.9.4)
戸の開閉方式 ○図示 ・片引き ・引分け ・片開き (16.9.3)
引き戸用検出装置 (16.9.2)(表16.9.3)
性能値 ※表16.9.3による
種類 ○光線(反射)スイッチ ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ
・タッチスイッチ(・無線式 ・光電式) ○キックスイッチ
防錆 ・適用する(塩害のおそれのある場合) ※適用しない
凍結防止措置 ・行う
製造所 評価名簿による

⑬自閉式上吊り引戸装置

性能 ※表16.10.1による
製造所 評価名簿による (16.10.3)(表16.10.1)

14重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度(N/m2) (16.11.2)
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度(N/m2)
・屋内用防火シャッター
・防塵シャッター
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 (16.11.2)(表16.11.1)
急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示
障害物感知装置の設置箇所 ※図示
危害防止機構の設置箇所 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの
ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3.(1))
製造所 評価名簿による

15軽量シャッター

開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度(N/m2)
電動シャッターに設ける自動的に停止する機能を有する障害物感知装置の設置箇所 ※図示
スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※A290を満足するもの
スラットの種類 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 (16.12.4)
製造所 評価名簿による

⑯オーバーヘッドドア

セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分
※ スチールタイプ ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・50
・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ○ ローヘッド形 ○ ステンレス鋼板 ・75
・ フォイバークラスタイプ ・ 電動式 ○ ハイリフト形 ・100
○ コンビネーションタイプ ・ パーチカル形 ○ 125
電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示
製造所 評価名簿による

⑰ガラス

ガラスの種類及び厚さ 摘要
・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※図示(製作所は評価名簿による)
※その他のガラス ※図示
ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による (16.14.2)(表16.14.3)

⑱ガラス留め材

種別 (16.14.2)
建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
樹脂製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングビード
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
木製 ※シーリング材 ・押縁留め
シーリング材 ※SR-1 (表9.7.1)

19ガラスブロック積み

ガラスブロック材料 (16.14.5)
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 防火性能
壁用金属枠及び補強材 力骨 図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム
材質 寸法 形状
※ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5mm ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色(金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形状 ※図示
工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示
目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※図示

20建築窓ガラス用フィルム

名称 種類、記号
※ガラス飛散防止フィルム ※G-I-1、GD-1 ・G-I-2、GD-2
品質 JIS A 5759による
○簡易的な目隠しを目的としたグラデーションフィルムとする 公表価格 8000円/㎡程度

項目

特記事項

⑫自動ドア開閉装置

引き戸用駆動装置
性能値 ※表16.9.1による
種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSDL-1 ○DSDL-2
バリアフリートイレ出入口に設置される引き戸用駆動装置 (16.9.2)(表16.9.2)
性能値 ※表16.9.2による
バリアフリートイレスイッチの開閉スイッチ ※押しボタン ・非接触 (16.9.3)(表16.9.4)
戸の開閉方式 ○図示 ・片引き ・引分け ・片開き (16.9.3)
引き戸用検出装置 (16.9.2)(表16.9.3)
性能値 ※表16.9.3による
種類 ○光線(反射)スイッチ ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ
・タッチスイッチ(・無線式 ・光電式) ○キックスイッチ
防錆 ・適用する(塩害のおそれのある場合) ※適用しない
凍結防止措置 ・行う
製造所 評価名簿による

⑬自閉式上吊り引戸装置

性能 ※表16.10.1による
製造所 評価名簿による (16.10.3)(表16.10.1)

14重量シャッター

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度(N/m2) (16.11.2)
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度(N/m2)
・屋内用防火シャッター
・防塵シャッター
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 (16.11.2)(表16.11.1)
急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示
障害物感知装置の設置箇所 ※図示
危害防止機構の設置箇所 ※図示
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3)
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの
ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.6.3.(1))
製造所 評価名簿による

15軽量シャッター

開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 (16.12.2)(表16.12.1)
耐風圧強度(N/m2)
電動シャッターに設ける自動的に停止する機能を有する障害物感知装置の設置箇所 ※図示
スラットの材質の種類 (16.12.3)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ※A290を満足するもの
スラットの種類 ・インターロック型 ・オーバーラッピング型 (16.12.4)
製造所 評価名簿による

⑯オーバーヘッドドア

セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分
※ スチールタイプ ※ バランス式 ・スタンダード形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・50
・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ○ ローヘッド形 ○ ステンレス鋼板 ・75
・ フォイバークラスタイプ ・ 電動式 ○ ハイリフト形 ・100
○ コンビネーションタイプ ・ パーチカル形 ○ 125
電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示
製造所 評価名簿による

⑰ガラス

ガラスの種類及び厚さ 摘要
・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※図示(製作所は評価名簿による)
※その他のガラス ※図示
ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による (16.14.2)(表16.14.3)

⑱ガラス留め材

種別 (16.14.2)
建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm)
アルミニウム製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングチャンネル形
樹脂製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による
・ガasket
・グレイジングビード
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による
木製 ※シーリング材 ・押縁留め
シーリング材 ※SR-1 (表9.7.1)

19ガラスブロック積み

ガラスブロック材料 (16.14.5)
表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 防火性能
壁用金属枠及び補強材 力骨 図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム
材質 寸法 形状
※ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5mm ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色(金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形状 ※図示
工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※図示
目地幅の寸法及び伸縮調整目地の位置 ※図示

20建築窓ガラス用フィルム

名称 種類、記号
※ガラス飛散防止フィルム ※G-I-1、GD-1 ・G-I-2、GD-2
品質 JIS A 5759による
○簡易的な目隠しを目的としたグラデーションフィルムとする 公表価格 8000円/㎡程度

項目

特記事項

カーテンウォール工事

1カーテンウォールの性能
性能値 (17.1.2~17.1.3)
耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性(時間) 遮音性 断熱性 耐温度差性(℃) 結露水処理
・S-4 水平方向 ※W-4 ※A-3 ・T-1 ・H-1 ・80
※S-5 ※1.0(kH) ・W-3 ※A-4 ・T-2 ・H-2 ・70
・S-6 鉛直方向 ※A-5 ・T-3 ・H-3 ・60
・ ※0.5(kv) ・T-4 ・H-4
・ ※0.5(kv) ・H-5
性能の確認方法及び判定方法 ※17.1.3(3)による (17.1.3)
金属系材料の種類 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 (17.2.2)
シーリング材 ※MS-2 (17.2.2)(表9.7.1)
見え掛り部分の仕上げ (17.2.3)
製品取付け位置の寸法許容差 ※表17.2.1~3による (17.2.3)
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による
※シーリング材(種類: ※SR-2 ・SR-1) (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1)
・構造ガasket (形状

項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
舗装工事				② 植栽基盤の整備		※ 行う ・ 行わない (23. 2. 2～23. 2. 3) (表23. 2. 1～表23. 2. 2)		別途設備工事との取合い			
① 路床		路床の材料 (22. 2. 2～22. 2. 3)				植栽 樹高(m) 工法 有効土層の厚さ(cm) 雨水の排水 範 囲		① 設備工事に用開口補強		貫通口開口部の補強	
		種別 材 料 厚さ(mm)				○ 樹木 ・ 1 2 以上 ※ A種 ※ 100 ・ 120 ・ 150 ・ 暗きょ排水 ・ 葉張り部分				《躯体》開口補強数量	
		・ 盛土 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 図示 ・		③ 植込み用土		・ 7～12未満 ・ B種 ※ 80 ・ 100 ・ 開きょ排水 ※ 植栽部分				《乾式下地》開口補強数量	
		・ フィルター層 ・ 砂 (75μ mふるい通過量が6%以下) ※ 図示 ・		④ 土壌改良材		・ 3～7未満 ○ C種 ※ 60 ・ 80 ・ 排水層 ・ 縦穴排水				部 位 サイズ 合計	
		・ 路床安定処理 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ プライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量を定めるために用いる C B R ()		⑤ 植樹		※ 芝、地被類 ※ B種 ※ 20 ・				基礎梁	
		試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ※ 行わない ・ 行う (22. 2. 5) 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22. 2. 5) 現場CBR試験 ※ 行わない ○ 行う (22. 2. 5)		6 支柱材		※ 現場発生土の良質土 ○ 客土 (22. 2. 3)				1Fスラブラリープ・開口	
② 路盤		路盤の厚さ ※ 図示 (22. 3. 3) (表22. 3. 1) 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 (22. 3. 3) (表22. 3. 1) ※ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない (22. 3. 5)		7 幹巻き用材料		土壌改良材の種類 () (23. 2. 3～23. 2. 4) 施工箇所 ※ 植栽範囲 ・ 図示 指定量 植栽基盤面積 1 m2あたり (L) ○ 図示				地上スラブ (フラットデッキ) 開口	
		アスファルト舗装の構成及び厚さ※ 図示 (22. 4. 2) 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60～80 ・ 80～100) (22. 4. 3) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用砕石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 (22. 4. 3) 加熱アスファルト混合物等の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 4)		8 芝張り		樹種、寸法、株立数等 ※ 図示 ・ (23. 3. 2)				地上外壁開口 (鉄骨胴縁)	
③ アスファルト舗装		部 位 混 合 物 の 種 類		9 吹付けは種用種子等		材料 ※ 加圧式防腐処理丸太材 ・ 真竹 (23. 3. 2) 形状 ※ 図示 (23. 3. 3)				ダクト用箱入れ	
		表 層 ○ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)		10 地被類		※ 幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23. 3. 2)					
4 コンクリート舗装		シールコート ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 5) アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) 舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22. 4. 2)		① 新植、移植樹木、芝等の枯補償の期間		種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ (23. 4. 2) 工法 平地 (※ 目地張り ・) (23. 4. 3) 法面 (※ べた張り ・) (23. 4. 2)					
		コンクリート舗装に使用するコンクリート (22. 5. 3) (表22. 5. 1)		解体工事		※ 引渡しの日から 1 年 ・ (23. 3. 4) (23. 3. 6) (23. 4. 7)					
		部 位 設計基準強度 (N/mm2) 所定のスランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm)		1 解体範囲		※ 図示 (土中解体で図面に記載がない場合は、基礎捨コンクリートまでとする。) ・ その他 ()					
		・ 車路及び駐車場 ※ 24 ・ 砂利の場合 ・ 25 ・ 40 砕石の場合 ・ 20 ・ 25 ・ 歩行者用通路 ※ 18 ・ 砂利の場合 ※ 25 ・ 砕石の場合 ※ 20 ・		2 解体作業注意事項		a) 解体機器は圧碎機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) P C B が含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、その P C B を含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者のもとより下請業者にも、周知徹底させること。					
5 カラー舗装		早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22. 5. 3) 注入目地材料の種類 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22. 5. 3) (表22. 5. 2) 目地の種類 ※ 表22. 5. 3による ・ 図示 (22. 5. 4) 目地の構造 ※ 図22. 5. 1による ・ 図示 (22. 5. 4)		3 作業時間等		資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。					
		舗装の構成(歩行者用通路) ※ 図示 ・ (22. 6. 2) (表22. 6. 1) 舗装の構成(車路) ※ 図示 ・ (22. 6. 2) (表22. 6. 1) 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの (22. 6. 2) (表22. 6. 1) アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (22. 6. 2) (表22. 6. 1)		4 騒音測定等		解体作業中はデジタル式の(・騒音計 ・振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。					
6 透水性アスファルト舗装		部 位 設計基準強度 (N/mm2) 所定のスランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 (mm)		5 その他		測定点 ※ 敷地境界 () か所：詳細な位置は監督職員と協議による ・ 図示 ・ その他 ()					
		・ 車路及び駐車場 ※ 24 ・ 砂利の場合 ・ 25 ・ 40 砕石の場合 ・ 20 ・ 25 ・ 歩行者用通路 ※ 18 ・ 砂利の場合 ※ 25 ・ 砕石の場合 ※ 20 ・				・ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。 ・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。					
7 ブロック系舗装		加熱系混合物に添加する材料 ・ 着色骨材(材質：) ・ 自然石(材質：) (22. 6. 3) 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量 (22. 6. 4) ニート工法及び塗布工法の配合等 (22. 6. 4)									
		舗装の構成(歩行者用通路) ※ 図示 ・ (22. 7. 2) 舗装の構成(車路) ※ 図示 ・ (22. 7. 2) 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの (22. 7. 2) アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6) (22. 7. 6)									
		仕上がり面の平たん性 ※ 22. 8. 2(2)による (22. 8. 2) ・ コンクリート平板舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)									
		種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 表面加工 備考									
		※ 普通平板 (N) ※ 300角 ・ 30 ・ 研ぎ出し									
		・ 透水性平板 (P) ※ 400角 ・ 60 ・ 洗い出し									
		・ 保水性平板 (M) ※ 450角 ・ 80 ・ たたき出し									
		・ インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)									
		種類 厚さ (mm) 曲げ強度 (N/mm2) 品質 (色彩、表面加工)									
		※ 普通ブロック (N) 車路 ※ 80 ・ ※ 5. 0 ・ ※ 標準色									
		・ 透水性ブロック (P) 歩行者用通路 ※ 60 ・ ※ 3. 0 ・									
		・ 保水性ブロック (M)									
		・ 舗石舗装									
		種類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 施工方法 備考									
		※ 小舗石 (花こう岩) ・									
		・									
⑧ 砂利敷き		種別 通路 ※ A種 ・ B種 (22. 9. 2) (表22. 9. 1) 建物周囲その他 ※ A種 ・ B種 職員駐輪場北 ○ 砂利又は砕石で40mmのみ									
		土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ※ 行わない ・ 行う (23. 1. 3) 電気伝導度 (EC) 試験 ※ 行わない ・ 行う (23. 1. 3)									
植栽及び屋上緑化工事											
① 植栽地の確認		土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ※ 行わない ・ 行う (23. 1. 3) 電気伝導度 (EC) 試験 ※ 行わない ・ 行う (23. 1. 3)									

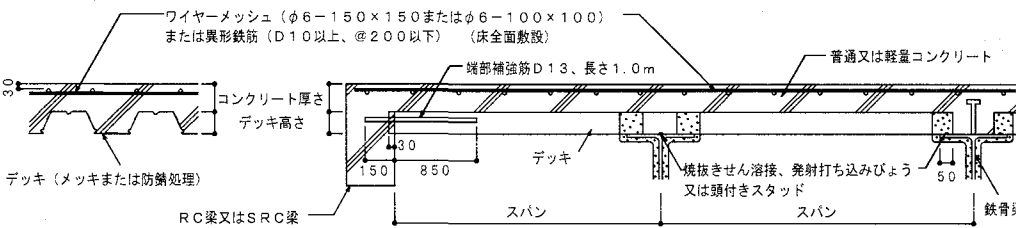
[illegible]

※各材料の施工要領は認定書の方法に準ずる。

適用	略 記 号	材 料 名	認 定 番 号
○	GB-R 9.5t	石膏ボード 9.5t	準不燃: QM-9828
	GB-R 9.5t (不燃)	同上(不燃)	不燃: NM-8618
○	GB-R 12.5t・15t	石膏ボード 12.5t・15t	不燃: NM-8619
○	GB-R+H 9.5t・12.5t	普通硬質石膏ボード 9.5t・12.5t	不燃: NM-9645
	GB-S 12.5t	耐水石膏ボード 12.5t	準不燃: QM-9826
○	GB-S 12.5t (不燃)	耐水石膏ボード 12.5t 不燃	不燃: NM-9639
○	GB-NC(T) 9.5t (不燃化粧PB)	不燃化粧石膏ボード 9.5t	不燃: NM-1864
	GB-D(T・W) 12.5t (化粧PB)	化粧石膏ボード 12.5t	不燃: NM-0127
○	GB-D(T・W) 9.5t (化粧PB)	化粧石膏ボード 9.5t	準不燃: QM-0524
○	GB-F 12.5t・15t・21t	繊維強化石膏ボード 12.5t・15t・21t	不燃: NM-8615
○	DR (岩綿吸音板)	ロックウール吸音板	不燃: NM-8599
○	FK(ケイカル板)	無石綿強化カルシウム板	不燃: NM-8578
○	化粧K(化粧ケイカル板)	無石綿化粧強化カルシウム板	不燃: NM-2439.4186
○	F (フレキシブルボード)	フレキシブル板(繊維強化セメント板)	不燃: NM-8576
	粘着剤付化粧繊維フィルム	塩化ビニル樹脂フィルム張り	不燃金属板下地 不燃: NM-0095 金属板を除く 不燃材下地 不燃: NM-0131
○	GWB	グラスウール保温板	不燃: NM-8605
○	GWBガラスクロス巻き	グラスウール保温板ガラスクロス繻繊張り	不燃: NM-8606
	FG-B 5t・6t・8t・10t (エフジーボード)	曲面用繊維混入石膏板	不燃: NM-9028
	RWB	ロックウール保温板	不燃: NM-8600
○	準・不燃浴室用天井材	準不燃/ス/パネル アルミ0.35t	準不燃: QM-0515
○		不燃/ス/パネル アルミ1.5t	不燃: NM-2671
	壁紙C・D	準不燃壁紙張り	基材同等 準不燃: QM (GB-R 9.5t 以上下地)
○	壁紙A・B	不燃壁紙張り	基材同等 不燃: NM-0847 (GB-R12.5t 以上下地)
○	硝子繊維不織布入り石膏板	硝子繊維不織布入り石膏板4t 以上	不燃: NM-9354
	不燃断熱材(打込み用)	無機質複合フェノールフォーム12・15・21・30t	不燃: NM-3381
	木毛セメント板	木毛セメント板	準不燃: QM-9020
		水酸化アルミニウム混入木毛セメント板	不燃: NM-0608
○	キッチン/パネル	台所用硝子繊維不織布板	不燃: NM-9447
	不燃化粧板	指紋レスメラミン不燃化粧板	不燃: NM-2183
	押入ボード 9t	インシュレーションボード	基材JISA5905 A級同等 +塩ビエマルジョン系塗装 (ホルムアルデヒド吸着剤入り)
	不燃処理木材	樹脂+不燃処理材	不燃: NM-0750(ムク材のみ)
	準不燃処理木材	樹脂+準不燃処理材	準不燃: QM-0255(ムク材・集成材)

PC030BE-9191

適用	材 料 名	使用部位	認 定 番 号	耐火・遮炎時間
○	押入断熱メント板15~27t+石膏ボード15t 断熱≤910	外壁	PC030NE-3898(1) (屋内側被覆規定無し)	防火構造(鉄骨)
○	外壁 押入断熱メント板15~27t 内壁 石膏ボード12.5t×2	○ 外壁 間仕切壁	QF060BE-9225	1時間準耐火(木・鉄骨)
	GB-F 12.5t×2両面 (強化石膏ボード)	間仕切壁	FP060NP-0483(1) (LGS下地)	1時間耐火
○	GB-F 21t×2片面 (強化石膏ボード)	間仕切壁	FP060NP-0497 (LGS下地)	1時間耐火
	繊維強化セメント板系/パネル27t		FP030NE-9299(鉄骨耐火被覆無し)	30分耐火
	繊維強化セメント板系/パネル33t	乾式外壁~スラブ取合	FP060NE-9198(鉄骨耐火被覆無し)	1時間耐火
	繊維混入丸 乾式カルシウム板系/パネル35t	間仕切壁	FP060NP-9363	1時間耐火
	押入中空成形セメント板60t	外壁非耐力壁	総張りFP060NE-9035	1時間耐火
			横張りFP060NE-9036	
		柱(複合)	FP060CN-9200 (鉄骨耐火被覆有り30t)	1時間耐火
		梁(複合)	FP060BM-9171 (鉄骨耐火被覆有り30t)	
		間仕切壁 (任意設置)	総張りFP060NP-9240	1時間耐火

適用	材 料 名	使用部位	認 定 番 号	耐火・遮炎時間							
	特殊セメント 及び防水被覆付合板9t +専用モルタルコテ押え16t	外壁(延焼の恐れ部分 内装準人以上)	PC030BE-9191	防火構造(鉄骨)							
	吹付ロックウール(半乾式 (耐火被覆吹付) 25t (複合30t)	柱	FP060CN-9460単独 FP060CN-9200複合EPC	1 時間耐火							
	吹付ロックウール(半乾式 (耐火被覆吹付) 25t (複合30t)	大梁 小梁	FP060BM-9408単独 FP060BM-9171複合EPC	1 時間耐火							
	吹付ロックウール(半乾式 (耐火被覆吹付) 45t (複合共)	柱	FP120CN-9463単独 FP120CN-9240複合EPC	2 時間耐火							
	吹付ロックウール(半乾式 (耐火被覆吹付) 45t (複合共)	大梁 小梁	FP120BM-9411単独 FP120BM-9208複合EPC	2 時間耐火							
	ゾノライト 珪酸カルシウム成形板 (耐火被覆) 20t	柱	FP060CN-9445	1 時間耐火							
	ゾノライト 珪酸カルシウム成形板 (耐火被覆) 20t	大梁 小梁	FP060BM-9393	1 時間耐火							
	ゾノライト 珪酸カルシウム成形板 (耐火被覆 直張り) 25t	柱	FP060CN-0071 単独 FP060CN-0120 複合	2 時間耐火							
○	石膏ボード9. 5t +繊維強化石膏ボ ード12. 5t (両面 LGS下地	間仕切壁(防火区画 ・異種用途区画)	R 元建告例示仕様195 号	60 分準耐火							
	鋼製建具(耐熱硝子自動引込)	面積区画 堅穴区画 異種用途区画	EA-9399	遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
○	アルミ サッシ	開口部(延焼の恐れ 部分)	防火設備 個別認定	遮炎20 分							
○	鋼製建具	開口部(延焼の恐れ 部分)	防火設備 H12 建告1360 の例示仕様	遮炎20 分							
○	鋼製建具	消防栓による 指定室区画	特定防火設備H12 建告1369 の例示仕様	遮炎1 時間							
	鋼製建具	面積区画 堅穴区画 異種用途区画	特定防火設備H12 建告1369 による構造	遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
○	鋼製建具(耐熱硝子F I X) 4 連窓以下	面積区画 堅穴区画 異種用途区画		遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
○	鋼製建具(耐熱硝子) 片開き扉	面積区画 堅穴区画 異種用途区画		遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
	鋼製建具(耐熱硝子F I X) 両開き扉	面積区画 堅穴区画 異種用途区画		遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
	鋼製建具(耐熱硝子) 引き込み 自動扉	面積区画 堅穴区画 異種用途区画		遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
	鋼製建具(引込・引き込) : EV 工事	EV 前区画 (EV 原)		遮炎1 時間 S48 建告2564 による遮煙性能							
耐火仕様合成スラブ		床 屋根	FP060FL-9095	1 時間耐火							
		床 屋根	FP120FL-9107	2 時間耐火							
	支 持 梁 : 鉄骨梁 及び 大梁 鉄筋コンクリート梁又は鉄骨鉄筋コンクリート梁、小梁: 鉄骨梁 コンクリート 設計基準強度18N/mm 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート(1 種・2 種)										
	耐火1 時間耐火 床・1 時間耐火 床・2 時間耐火	普通コンクリート	50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照 算出式 注5) B 参照 4.400N/m以下 注2)				
			75	3.4m 以下 3.6m 以下							
		軽量コンクリート	50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照 算出式 注5) B 参照				
			75	3.4m 以下							
	床、2 時間耐火	普通コンクリート	50	2.7m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) A 参照 算出式 注5) B 参照 D10-φ200 注2)				
			75	3.4m 以下							
		軽量コンクリート	50	2.7m 以下	85mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) A 参照 算出式 注5) B 参照				
			75	3.4m 以下 3.6m 以下							
	RC梁又はSRC梁										
	ワイヤーメッシュ (φ6-150x150またはφ6-100x100) または異形鉄筋 (D10以上、φ200以下) (図全面取付) 										

耐火義務緩和の適用(1 時間耐火義務部の梁)
H12 告示1399-第四一三一
直下の天井は準不燃以上

高知市東消防署三里出張所新築工事

建築意匠図 使用材料認定番号表

DATE/ 2025/6/30 SCALE/ SHEET NO A-12

(株) A S A 設 計 事 務 所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-6797 (代)
FAX (088) 822-6799

一級建築士大倉倉保196852号
中 井 隆 夫 中 井 隆 夫

真北計算用変換座標（測点1）

国土地理院 Web版 TKY2JGD Ver.1.3.80

計算結果

日本測地系を世界測地系に変換

日本測地系		入力値	
楕円体		Bessel	
平面直角座標系		4系	
T104 平面直角座標		X座標	58435.691 m
		Y座標	8201.791 m

世界測地系		出力値	
楕円体		GRS80	
補正後の 緯度・経度	緯度	33°31'49.16945"	
	経度	133°35'08.51995"	
平面直角座標系		4系	
補正後の 平面直角座標	X座標	58815.3046 m	
	Y座標	7959.8880 m	
真北方向角		-0°02'50.42"	
縮尺係数		0.99990078	

真北計算用変換座標（測点2）

国土地理院 Web版 TKY2JGD Ver.1.3.80

計算結果

日本測地系を世界測地系に変換

日本測地系		入力値	
楕円体		Bessel	
平面直角座標系		4系	
ST-1 平面直角座標		X座標	58438.600 m
		Y座標	8228.445 m

世界測地系		出力値	
楕円体		GRS80	
補正後の 緯度・経度	緯度	33°31'49.26318"	
	経度	133°35'09.55311"	
平面直角座標系		4系	
補正後の 平面直角座標	X座標	58818.2142 m	
	Y座標	7986.5414 m	
真北方向角		-0°02'50.99"	
縮尺係数		0.99990079	

変換座標（参考）

国土地理院 Web版 TKY2JGD Ver.1.3.80

計算結果

日本測地系を世界測地系に変換

日本測地系		入力値	
楕円体		Bessel	
平面直角座標系		4系	
T103 平面直角座標		X座標	58431.529 m
		Y座標	8171.543 m

世界測地系		出力値	
楕円体		GRS80	
補正後の 緯度・経度	緯度	33°31'49.03515"	
	経度	133°35'07.34745"	
平面直角座標系		4系	
補正後の 平面直角座標	X座標	58811.1424 m	
	Y座標	7929.6406 m	
真北方向角		-0°02'49.77"	
縮尺係数		0.99990077	

真北計算

国土地理院 Web版 距離と方向角の計算(ST計算)

1点毎の計算

二点計算

座標値の入力方法

数値入力

地図上で選択

測地系

世界測地系

平面直角座標系

4系

測点1 T104

X座標

58815.3046 m

Y座標

7959.8880 m

測点2 ST-1

X座標

58818.2142 m

Y座標

7986.5414 m

座標値の入力

地図上で確認

地図クリア

測点1 T104

X座標

58815.3046 m

Y座標

7959.8880 m

測点2 ST-1

X座標

58818.2142 m

Y座標

7986.5414 m

計算結果

測地系

世界測地系

平面直角座標系

4系

測点1 T104

X座標

58815.3046 m

Y座標

7959.8880 m

測点2 ST-1

X座標

58818.2142 m

Y座標

7986.5414 m

出力値

測地経長

26.814 m

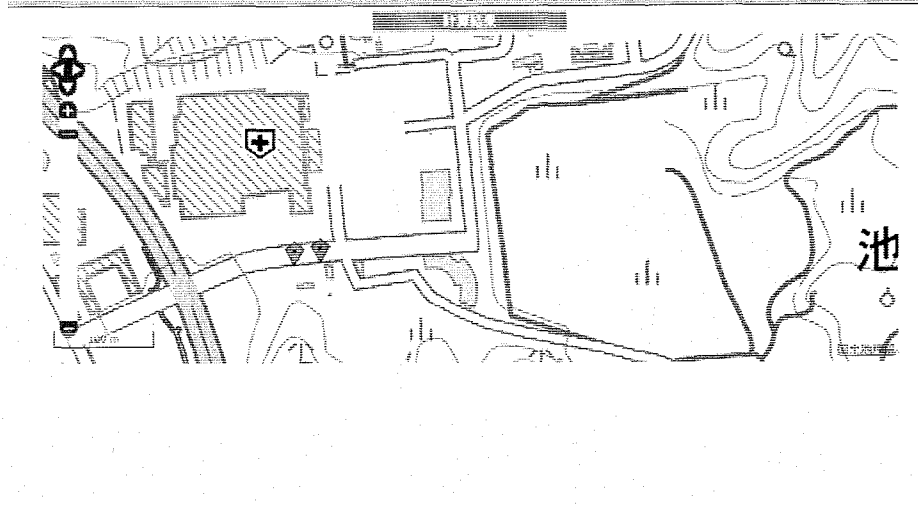
方向角1

83°46'12.05"

方向角2

263°46'12.05"

測点1・2を結ぶ線分に
対する真北の角度



日影計算用変換緯度経度

入力値

1点毎の計算

二点計算

座標値の入力方法

数値入力

地図上で選択

変換方向

日本測地系

世界測地系

世界測地系

日本測地系

座標値の入力

緯度

経度

度分秒

十進法度単位

系換分

4系

330000

133000

測点1 T104

X座標

58435.244

Y座標

8201.661

計算結果

測地系

世界測地系

平面直角座標系

4系

測点1 T104

X座標

58815.3046 m

Y座標

7959.8880 m

測点2 ST-1

X座標

58818.2142 m

Y座標

7986.5414 m

出力値

測地経長

26.814 m

方向角1

83°46'12.05"

方向角2

263°46'12.05"

測点1・2を結ぶ線分に
対する真北の角度



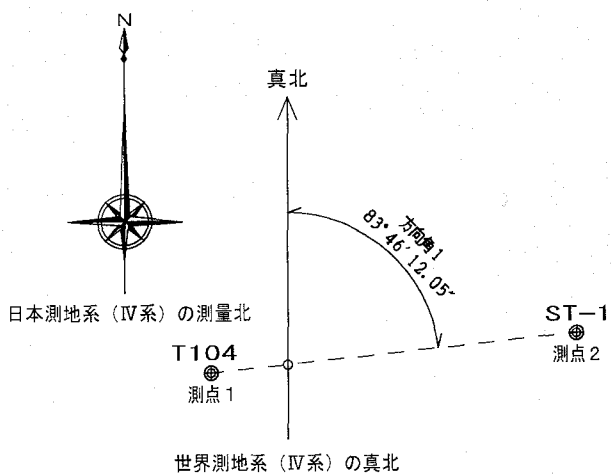
基準点・準拠点座標値		*日本測地系（IV系）	
点名	標種	X座標	Y座標
T104		58435.691	8201.791
ST-1		58438.600	8228.445
T103		58431.529	8171.543
FY170	敷地最北点	58435.244	8201.881



用地実測図

高知市池字見野越2841番6 外9筆

日本測地系（IV系） S=1/300



求積表

地番	起業地				
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距離	
30	58429.183	8172.393	-34005.7845060	29.715	
31	58399.934	8177.637	315768.4431380	0.922	
32	58399.026	8177.800	-6774.2870160	0.296	
5-K185	58398.927	8177.521	-62778.8465250	2.201	
5-K183	58396.874	8176.725	-176767.3375980	6.171	
5-K184	58391.120	8174.494	-86652.4220800	0.856	
5-1693	58390.700	8175.241	776187.5751000	14.396	
5-1682	58383.639	8187.787	978684.9405570	4.324	
5-1681	58382.679	8192.004	759675.4191480	11.226	
5-1678	58375.701	8200.799	1326237.5510190	14.208	
5-1672	58372.873	8214.723	966829.8954990	2.639	
5-1670	58372.851	8217.362	326712.8470470	4.472	
5-K228	58376.205	8220.320	420075.1711800	34.971	
FY169	58410.919	8224.558	254437.9631640	0.974	
5-K227	58411.886	8224.676	-210341.2014860	3.922	
FW01	58410.640	8220.957	-1219322.1100000	17.207	
F158	58409.308	8203.801	-1114215.9594080	26.006	
FY170	58435.244	8201.881	-572782.2616880	7.986	
H3	58433.955	8193.999	-1007868.8558400	9.543	
H2	58432.122	8184.633	-675416.8981980	2.255	
N241	58431.596	8182.440	-180612.0632360	0.923	
N242	58431.380	8181.542	-246638.8549800	3.417	
N245	58430.582	8178.219	-534581.3947180	5.991	
		合 計	-4148.4714270		
		合 計 面 積	2074.2357135		
		地 積 A	2074.23 ±2		

公式 A=1/2 Σ { Xn (Yn+1 - Yn-1) }

高知市東消防署三里出張所新築工事

建築意匠図 用地実測図・求積表・測地系変換・ST計算

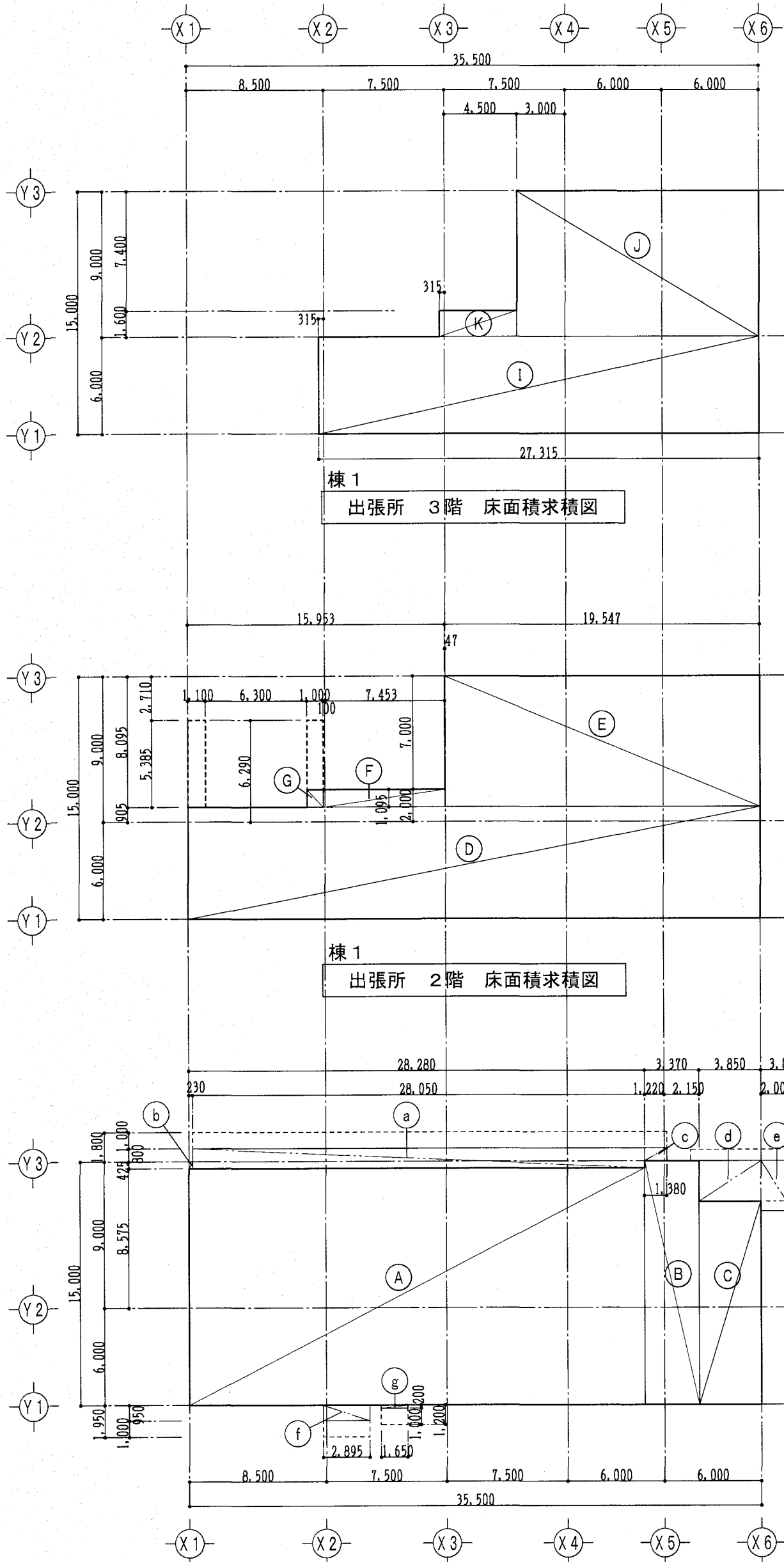
DATE/ 2025/6/30 SCALE/ 1/300 SHEET NO A-14

(株) A S A 設計事務所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-6799

一級建築士大臣登録第196882号 田中健一 DRAWN BY K. 田中 CHECKED BY

高知市都市建設部公共建築課			
係長	係長	課長補佐	課長
田中	田中	田中	田中



棟 1
出張所 3階 床面積求積図

棟 1
出張所 2階 床面積求積図

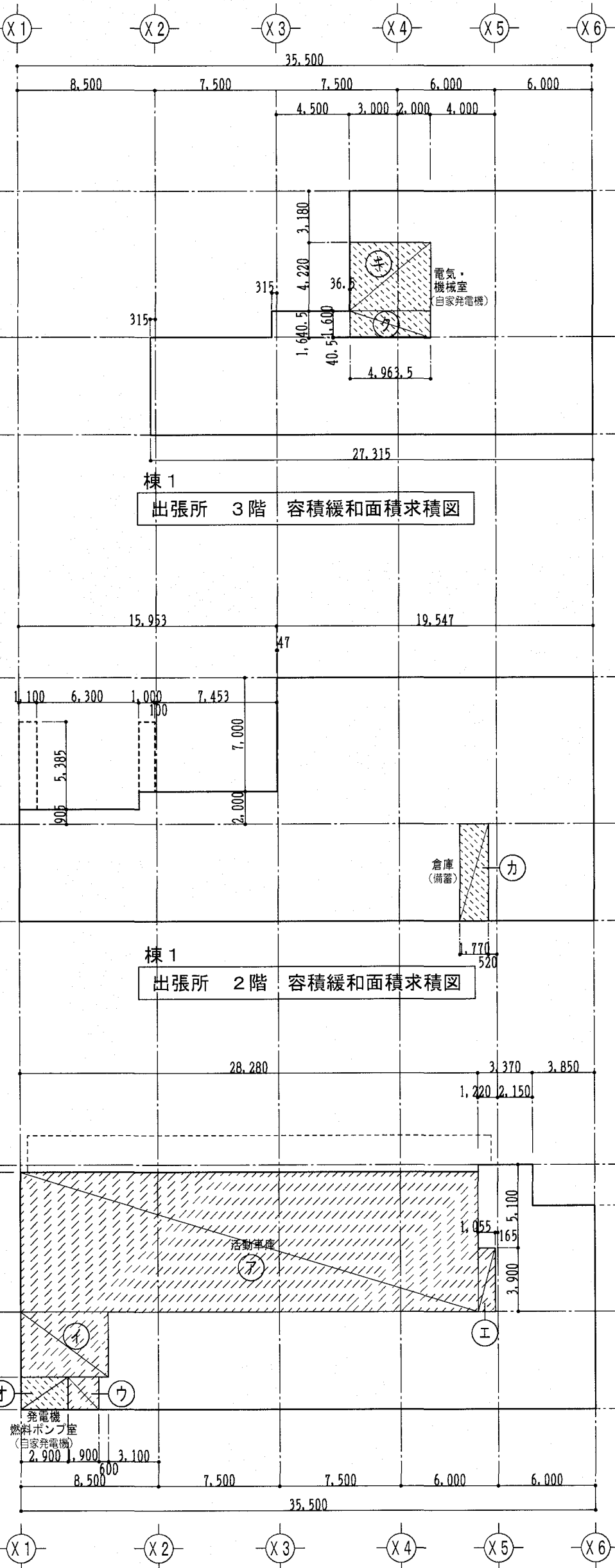
棟 1
出張所 1階 床面積
・建築面積 求積図

棟 1
出張所 ホースリフター
屋根面積 求積図

■屋根面積の計算式
1.875×2.895
=5.42812

=5.42㎡ ≦ 565.32㎡×1/8

上記よりホースリフター屋根はPHに類するものとみなし、
棟1の高さには算入しない。



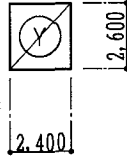
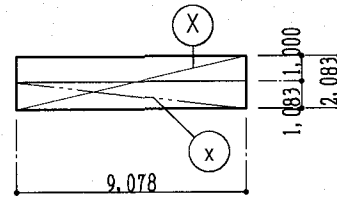
棟 1
出張所 3階 容積緩和面積求積図

棟 1
出張所 2階 容積緩和面積求積図

棟 1
出張所 1階 容積緩和面積求積図

棟 2
職員駐輪場 1階床面積
・建築面積 求積図

棟 3
LPGボンベ置場 1階床面積
・建築面積 求積図



棟1 出張所(事務所)】床面積計算表(建築基準法による)					小数第5位切捨	先端545mm後端	水段面積	小数第3位切捨
階	記号	計 算 式			屋内小計	屋外庇下小計	屋外駐輪場小計	計(㎡)
1	A	14.575	×	28.280	=	412.1810		
	B	15.000	×	3.370	=	50.5500		
	C	12.500	×	3.850	=	48.1250		
	1階 計				510.8560	0.0000	0.0000	510.8560
								510.85
2	D	6.905	×	35.500	=	245.1275		
	E	8.095	×	19.547	=	158.2329		
	F	1.095	×	7.553	=	8.2705		
	G	1.095	×	1.000	=	1.0950		
	H	欠番	×		=			
	2階 計				412.7259	0.0000	0.0000	412.7259
								412.72
3	I	6.000	×	27.315	=	163.8900		
	J	9.000	×	15.000	=	135.0000		
	K	1.600	×	4.815	=	7.7040		
	3階 計				306.5940	0.0000	0.0000	306.5940
								306.59
【棟1】延床面積(㎡)							内 駐輪場	全体
							0.00	1,230.16

棟1 出張所(事務所) 建築面積計算表(建築基準法による)					小数第5位切捨	小数第3位切捨
床面積最大の階へ広加算	記号	計 算 式			小 計	計(㎡)
		上表1階床面積に同じ			=	510.8560
	a	1.225	×	28.050	=	34.3612
	b	0.425	×	0.230	=	0.0977
	c	0.800	×	1.380	=	1.1040
	d	2.500	×	3.850	=	9.6250
	e	3.100	×	2.000	=	6.2000
	f	0.950	×	2.895	=	2.7502
	g	0.200	×	1.650	=	0.3300
	【棟1】建築面積(㎡)					565.3241

【棟1 出張所(事務所)】容積緩和面積計算表(建築基準法による)					小数第5位切捨	同左	同左	
階	記号	計 算 式			車庫等	自家発電等	備蓄等	
1	ア	8.575	×	28.280	=	242.5010		
	イ	4.000	×	5.400	=	21.6000		
	ウ	2.000	×	1.900	=	3.8000		
	エ	3.900	×	1.055	=	4.1145		
	オ	2.000	×	2.900	=		5.8000	
2	カ	6.000	×	1.770	=		10.6200	
3	キ	4.220	×	5.000	=	21.1000		
	ク	1.6405	×	4.9635	=	8.1426		
各計					272.0155	35.0426	10.6200	
【棟1】容積緩和面積(㎡)					小数第3位切捨	272.01	35.04	10.62

【棟2 職員駐輪場】床面積・建築面積計算表(建築基準法による)					小数第5位切捨	同左
階	記号	計 算 式			床面積小計	建築面積小計
1	X	2.083	×	9.078	=	18.9094
	x	1.083	×	9.078	=	9.8314
	1階 計				18.9094	9.8314
【棟2】延床面積・建築面積(㎡)					小数第3位切捨	18.90 9.83

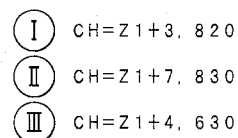
【棟3 LPGボンベ置場】床面積・建築面積計算表(建築基準法による)					小数第5位切捨	小数第3位切捨
階	記号	計 算 式			小 計	計(㎡)
1	Y	2.600	×	2.400	=	6.2400
	1階 計				6.2400	6.24
【棟3】 延床面積・建築面積(㎡)						6.24

各棟面積表

棟 名	延床面積	建築面積	内 容積緩和対象面積		内 訳	
			車庫等	自家発電・備蓄庫等	自家発電機室	備蓄倉庫
棟 1	1,230.16	565.32	251.06	23.17	12.55	10.62
棟 2	18.90	9.83	限度を超えにより不適用	0.00		
棟 3	6.24	6.24	0.00	0.00		
総 合 計(㎡)	1,255.30	581.39	251.06	23.17		
容積緩和面積			274.23			
容積率対象延床面積	981.07		容積緩和床面積の限度			
敷地面積(㎡)	2,074.23		=			
容積率(%)	47.30	≦ 200→OK	限度を採用↑			
建蔽率(%)	28.03	≦ 60→OK	限度を採用↑			

高知市東消防署三里出張所新築工事			
建築意匠図	床面積・建築面積求積図、算定表		
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/300	SHEET NO.	A-15
(株) A S A 設 計 事 務 所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD			
TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799			
一級建築士大匠登録第196852号			
田 中 健 一	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY	

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
田 中	大 下	濱 口	松 本

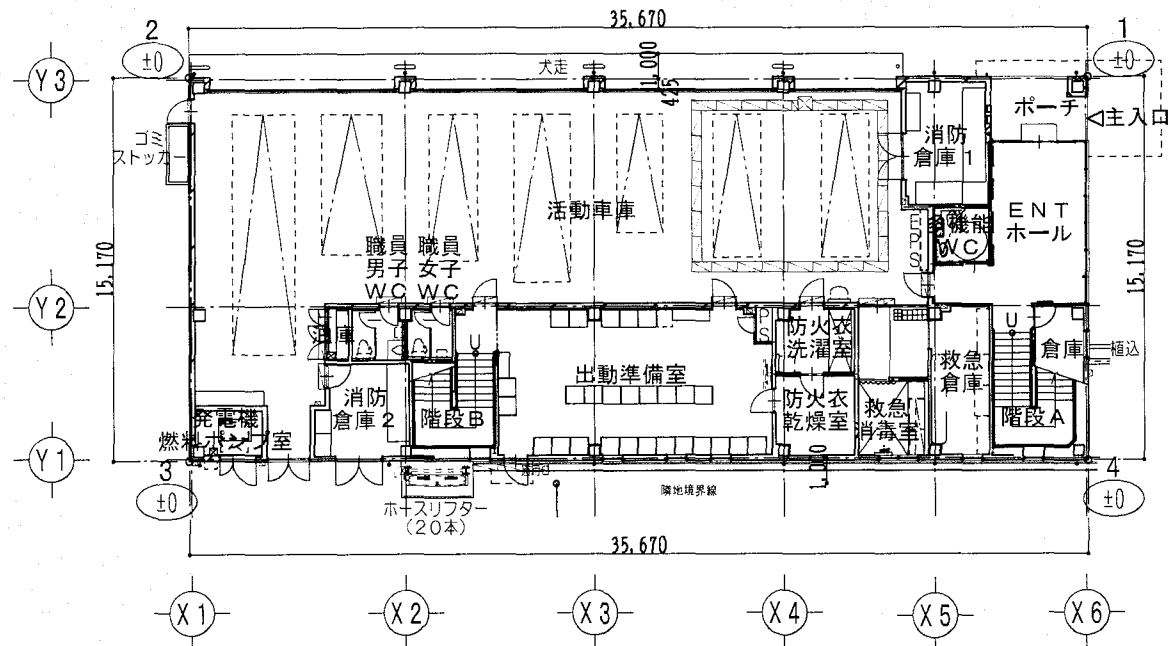


棟 1



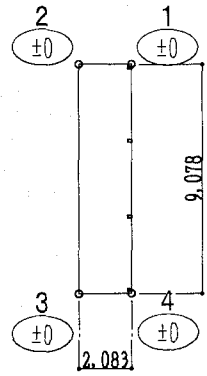
高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
福見	澤田	大下	濱口
			松本

高知市東消防署三里出張所新築工事		
建築意匠図	各室面積積積図、L V S 算定表 1	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/300	SHEET NO A-16
(株) A S A 設 計 事 務 所 ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (098) 822-5797 (F) FAX (098) 822-5799		
一般建築士大会登録第196852号		
田 中 健 一	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY



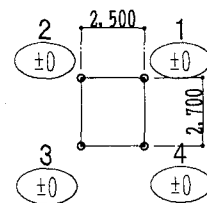
棟1 出張所
地盤面算定図

地盤面算定表(棟1 出張所)															R7/3/13現在				
記号	レベル1 (mm)	レベル2 (mm)	長さ (m)	① 矩 形			② 三 角 形				③ 台 形				形状別 計			計 (㎡)	
				W	×	H	W	×	H	×	1/2	(上底 — 下底)	×	H	×	1/2	①		②
1→2	0	0	35.670	0.000	×	35.670										0.000000		0.000000	
2→3	0	0	15.170	0.000	×	15.170										0.000000		0.000000	
3→4	0	0	35.670	0.000	×	35.670										0.000000		0.000000	
4→1	0	0	15.170	0.000	×	15.170										0.000000		0.000000	
長さ合計 (L)			101.680																
注1) Z0±0を基準(±0)とする。																面積合計 (A)			0.000000
注2) Z0=KBM1+5.0=FH12.950m																平均レベル (A/L) =			0.000000
注3) 測点間の一部にZ0から若干上がった上間、大定、植込等があるが、それらを考慮すると平均地盤面は上がり、相対的に建物高さは下がる。																			
ここではそれらの高さと範囲を一旦除外し、建物高さを不利側で捉えた値を構造計算等に適用する。																小数第4位以下切捨て			0.00
																			地盤面=Z0±0m
																			FH=12.95m



棟2 職員駐輪場
地盤面算定図

地盤面算定表(棟2 職員駐輪場)															R7/3/13現在			
記号	レベル1 (mm)	レベル2 (mm)	長さ (m)	① 矩 形			② 三 角 形			③ 台 形					形状別 計			計 (㎡)
				W	×	H	×	1/2	(上底 + 下底)	×	H	×	1/2	①	②	③		
1→2	0	0	2.083	0.000	×	2.083									0.000000		0.000000	
2→3	0	0	9.078	0.000	×	9.078									0.000000		0.000000	
3→4	0	0	2.083	0.000	×	2.083									0.000000		0.000000	
4→1	0	0	9.078	0.000	×	9.078									0.000000		0.000000	
長さ合計 (L)			22.322															
注1) Z0±0を基準(±0)とする。															面積合計 (A)			0.000000
注2) Z0=KBM1+5.0=FH12.950m															平均レベル (A/L) =			0.000000
注3) 測点間の土間の片側はZ0から水勾配程度上がっているが、それを考慮すると平均地盤面は上がり、相対的に建物高さは下がる。 ここでは勾配を一旦除外し、建物高さを不利側で捉えた値を構造計算等に適用する。															小数第4位以下切捨て			0.0000
															地盤面 = Z0 ± 0m			
															FH = 12.95m			



棟3 LPGボンベ置場
地盤面算定図

地盤面算定表(棟3 LPGボンベ置場)															R7/3/13現在			
記号	レベル1 (mm)	レベル2 (mm)	長さ (m)	① 矩 形			② 三 角 形				③ 台 形					形状別 計		
				W	×	H	W	×	H	×	1/2	(上底 + 下底)	×	H	×	1/2	①	②
1→2	0	0	2.500	0.000	×	2.500										0.000000		0.000000
2→3	0	0	2.700	0.000	×	2.700										0.000000		0.000000
3→4	0	0	2.500	0.000	×	2.500										0.000000		0.000000
4→1	0	0	2.700	0.000	×	2.700										0.000000		0.000000
長さ合計 (L)			10.400															
注1) Z0±0を基準(±0)とする。															面積合計 (A)			0.000000
注2) Z0=KBM1+5.0=FH12.950m															平均レベル (A/L) =			0.000000
注3) 測点間の土間はZ0から5.0m上がっているが、それを考慮すると平均地盤面は上がり、相対的に建物高さは下がる。 ここでは土間高を一旦除外し、建物高さを不利側で捉えた値を構造計算等に適用する。															小数第4位以下切捨て			0.000
															地盤面=Z0±0m			
															FH=12.95m			

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
田中	大下	濱口	松本

高知市東消防署三里出張所新築工事		
建築意匠図	地盤面算定図表	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/300	SHEET NO A-18
(株) A S A 設 計 事 務 所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5707 (代) FAX (088) 822-5709		
一級建築士(国土交通省)第196652号	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY

外部仕上表												
方向・部位		根廻り	壁	窓	柱 型	梁 型	バルコニー・小庇	軒 天	備 考			
東 面		合板型枠A種打放し 浸水材吹付	押出成形セメント板張りの上 2ーFUE 合板型枠A種打放し 浸水材吹付	ALサッシ			AL小庇（既製品） 鉄部溶融亜鉛メッキ（キャットウォーク）		キャットウォーク床：人工木デッキ			
南 面		同上	同上 同上	ALサッシ								
西 面		同上	同上 同上	ALサッシ AL+FRP手動オーバードア			押出成形セメント板張りの上 2ーFUE 合板型枠A種打放し 浸水材吹付		AL小庇（既製品） 鉄部溶融亜鉛メッキ（訓練用庇）		訓練用庇床：StCHPL	
北 面		同上	同上 同上	ALサッシ			同上 同上		AL小庇（既製品）	外部用LGS下地 ALスバンドレル張り （キャノピー）		
屋 根	Z2屋根（キャノピー）：ラスシートモルタル塗りの上 床用高性能防水形複層塗材 Z3・R屋根（一般）：コンクリート直均し仕上の上 合成高分子系ルーフィングシート外断熱防水（断熱材40t）機械的固定工法（軽歩行） 小屋根（ホースリフター）：硬質木片セメント板18t+ゴムアスシート1.2tの上 長尺金属板 立ハセ置き H=30 ㊦375 横鼻折曲げ											

内部仕上表		異種用途区分（活動車庫及び付属室その他の境界）は1,000㎡区画を表用する。なお、計画建物に堅気区画は要しない。 全ての塗装は、室・居室：■不燃 ■準不燃 □難燃 以上、外部：■不燃 □準不燃 以上とする。 内部壁仕上及び下地材は、全てF☆☆☆☆とする。	
本施設は令126条の二により、階段・EPS・PS等を除く全ての居室・室・廊下に関して排煙設備を適用する。 また、令129条第4項に該当するため室以外（居室及び避難経路）は全て内装制限を適用する。 但し、居室に於いてH12年告示1436号第4項ニ（四）を用いて排煙緩和を適用するものは指定部位の仕上・下地共指定の内装制限を適用する。 また、室に於いてもH12年告示1436号第4項ニ（二）を用いて排煙緩和を適用するものは指定部位の内装制限を適用する。		《耐震性を考慮した天井下地材》 計画建物において特定天井に該当する部分は「活動車庫」だが天井は張らない（吊材を使用した天井は無い）。したがって、本計画に耐震専用天井下地材は適用しない。 天井下地材の補強方法は建築工事標準仕様書14.4.4によるが、ふところ1.5m以下の場合も（8）を適用し、固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。	

階	室 名	床	巾 木	腰 壁	壁	柱 型	梁 型	天 井	天井高	廻縁	備 考
1	E N Tホール	モルタル塗りの上 磁器質タイル張りD	御影石巾木 H＝75		GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 EP GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP			GB－R9. 5tの上 DR9t張り	2.800	プラスチック 目通し	自然排煙 無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	消防倉庫 1	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材B（散布工法）	合板型枠A種打放し巾木 ビニル巾木 H＝75	合板型枠A種打放しの上	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＊2＋FK6t目通し張りのまま	鉄部見出しの上 EP－G	鉄部見出しの上 EP－G	鉄部見出しの上 EP－G	—	—	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	救急倉庫	同上	ビニル巾木 H＝75	合板型枠B種打放しの上 EP GB－R9. 5t＋12. 5t（薄壁）の上 EP	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 EP GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP		GB－D（T）9. 5t張り	2.800	プラスチック 突付け	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500 救急消毒室とは空間的に1室だが防煙亜壁（H≧500）で区分
	救急消毒室	その他：下地仕上とも同上（一部塩ビスノコマット敷き） 洗い場：防水モルタル塗りの上 SUS玄関マット敷き	床同材立上げ H＝75	同上 モルタル塗りの上 陶器質タイル張りA	GB－R12. 5t＊2の上 EP－G GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 キッチンパネル張り GB－S12. 5tの上 キッチンパネル張り			GB－NC（T）9. 5t張り SUSWM－6φ150φ＋枠L－40＊40＊3 上部天井：FK6t目通し張り EP－G	2.100 2.800	同上	洗い場：自然排煙 洗い床：SUS玄関マット（特注） 前室：無窓の居室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（五）を適用 ～ 下地・仕上共不燃材 前室の壁2重張りの下地はGB－R9. 5tを12. 5tに読み換える
	防火衣洗濯室	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材B（散布工法） 洗い場：防水モルタル塗りの上 SUS玄関マット敷き		モルタル塗りの上 陶器質タイル張りA	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま 合板型枠A種打放しの上	上部：GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま 様：ラスモルタル塗りの上 陶器質タイル張りA		SUSWM－6φ150φ＋枠L－40＊40＊3 上部天井：FK6t目通し張り EP－G	2.100 2.800	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500 洗い床：SUS玄関マット（特注）
	同上 乾燥室	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材B（散布工法）	床同材立上げ H＝75	合板型枠A種打放しの上	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま	GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま		同上 同上	2.100 2.800	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	出動準備室	コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB	ビニル巾木 H＝75	合板型枠B種打放しの上 EP－G GB－R9. 5t＋12. 5t（薄壁）の上 EP－G	GB－R12. 5tの上 EP－G GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP－G	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP－G		GB－D（T）9. 5t張り	2.700	プラスチック 目通し	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	油庫	コンクリート直均し仕上の上 合成樹脂塗床	床同材立上げ H＝100	合板型枠A種打放しの上	GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま FK6t目通し張りのまま		鉄部見出しの上 EP－G	鉄部見出しの上 EP－G	—	—	異種用途区分内 無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500 高知市火災予防条例第31条の3の2（屋内の少量危険物の貯蔵）を適用 内装不燃・屋内に面する出入口は特定防火設備（告示明示仕様）
	消防倉庫 2	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材B（散布工法）	床同材立上げ H＝75	同上	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま	鉄部見出しの上 EP－G	同上	同上	—	—	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	燃料ポンプ室	モルタル塗り	合板型枠A種打放し巾木 H＝100	同上	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま	同上	同上	同上	—	—	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500 消防法上の危険物施設を適用 内装不燃・屋外に面する出入口は防火設備
2	活動車庫	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材A（塗付け工法）	床同材立上げ H＝100	同上	1階：GB－F21t＊2＋FK6t目通し張りのまま 吹抜：GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま 外壁裏共通：FK6t目通し張りのまま	鉄部見出しの上 DP	鉄部見出しの上 DP	鉄部見出しの上 DP 不燃断熱材30t打込みのまま	—	—	自然排煙 150㎡以上の自動車庫庫なので吹抜に面する全ての部分（救急消毒室及び同倉庫を除く）と他部とは準耐火構造以上の「異種用途区分」を行い、室内に面する開口部は「特防区分（遮炎＋遮煙）」を施す。
											【壁仕上補足】 救急倉庫・救急消毒室のC面天井裏（Y1通り）：GB－R12. 5t＊2張上げ
	事務室	コンクリート直均し仕上＋防塵塗装の上 OAフロアH＝100（ビニル床タイル張りB一体型）	ビニル巾木 H＝75		GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP X4～5のA面に限りGB－R12. 5t＊2の上 EP	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP		GB－D（T）9. 5t張り	2.700	プラスチック 突付け	自然排煙
	ワゴン室	コンクリート直均し仕上の上 ビニル床タイル張りA	同上		同上 X3～4のA面に限りGB－R12. 5t＊2の上 EP GB－R9. 5t＋遮音シートA＋GB－R12. 5tの上 EP （GW50t内蔵）	同上		同上	2.800	同上	自然排煙
	洗面室	コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA	同上	洗面廻り GB－R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP GB－R9. 5t＋遮音シートA＋GB－R12. 5tの上 EP （GW50t内蔵）			同上	2.500	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	倉庫（備蓄）	Z2：コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA Z2＋450：木造床板＋針葉樹合板T2 12tの上 複合フローリング12t張り	同上 木製巾木 H＝60 UC	同上 同上	同上 同上			同上	2.600～ 2.250	同上	自然排煙 運用上、居室扱いとする
	男子仮眠室 1～8	Z2：同上 Z2＋400：鋼製床板＋針葉樹合板T2 12tの上 敷敷き	同上 同上	同上 同上	同上 同上	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP		仮眠室7以外：同上 仮眠室7：GB－NC（T）9. 5t張り	2.600～ 2.300	同上	仮眠室7以外：自然排煙 仮眠室7：無窓の居室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（五）を適用 ～ 下地・仕上共不燃材 仮眠室7の壁2重張りの下地はGB－R9. 5tを12. 5tに、遮音シートAを長尺金属板0. 8tに読み換える
階	女子専用スペース	踏込・通路	踏込：コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA 通路Z2＋150：洋室床用敷材110t＋針葉樹合板T2 12tの上 複合フローリング15t張り（塗敷き）	踏込：ビニル巾木 H＝75 通路：同上 H＝60	GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 EP GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP （GW50t内蔵）			GB－D（T）9. 5t張り	2.600～ 2.450	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	仮眠室（2室共）	Z2＋150：和室床用敷材95tの上 敷敷き 室内踏込は上記通路に準ずる	木製巾木 H＝60 UC	同上 同上 同上	同上 同上 同上	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP		同上	2.450	同上	自然排煙 【壁仕上補足】X3～4のA面に限りGB－R12. 5t＊2の上 EP
	脱衣・洗濯室	Z2＋150：洋室床用敷材130t＋ラワン合板T1 12t＋ 4tの上 ビニル床シート張りC	ビニル巾木 H＝60	洗濯ライニング GB－R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP－G			FK6t目通し張りの上 EP－G	2.450	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	UB（1317型）	ユニットバス製造所の仕様に準ずる			←	←	←	←	—	—	排煙緩和は脱衣室と一体として扱う UBは浴室換気乾燥機併付
	WC	コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB	床同材立上げ H＝75	GB－R12. 5tの上 化粧FK6t張り GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 同上仕上	GB－R9. 5t＋12. 5tの上 EP GB－R9. 5t＋GB－F12. 5tの上 EP			GB－D（T）9. 5t張り	2.500	プラスチック 突付け	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≧500
	資材置場・ ポート置場	コンクリート直均し仕上の上 硬質床仕上材B（散布工法）	ビニル巾木 H＝75		GB－R9. 5t＋GB－F12. 5t＋FK6t目通し張りのまま GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま	鉄部見出しの上 DP	鉄部見出しの上 DP	鉄部見出しの上 DP	—	—	自然排煙（活動車庫と一室） 壁のFはFL＋1. 820迄。以上はFK6t目通し張りのまま
	キャットウォーク	CHPL－6 溶融亜鉛メッキのまま			GB－R12. 5t＋FK6t目通し張りのまま		同上	同上	—	—	自然排煙（活動車庫と一室） 壁のFはFL＋1. 820迄。以上はFK6t目通し張りのまま

下地・仕上略記号表

合板型枠A種打放し	塗装合板型枠打放し 大型Pコン面落ち補修	GB-S	シージングボード（耐水石膏ボード・不燃）	FK	珪酸カルシウム板6t 目通し張り	木製巾木	桧 UC	陶器質タイル張りA	100□ 5.0t
薄壁	LGS薄型2重壁工法	GB-D（T・W）	化粧石膏ボード（トラバーチン模様・杉皮模様）	化粧FK	化粧珪酸カルシウム板6t R面取突付張り			ボーダータイル張り	磁器質ボーダー9B×12.5 6.0t
AL	アルミ	GB-NC（T）	不燃化粧石膏ボード（トラバーチン模様）	F	フレキシブルボード6t 目通し張り	複合フローリング	桧12t 塗装品	磁器質タイル張りA	50□ 7.0t
St	スチール	DR	ロックウール化粧吸音板（岩綿吸音板）			複合フローリング	桧15t 無垢集成 塗装品	磁器質タイル張りB	200□ 9.0t
WM	ワイヤーメッシュ	RWB	ロックウール吸音ボード	PF隠板	ポストフォーム隠板20t				
和（洋）室床用発泡材	発泡プラスチック系 断熱床下地材	GW	グラスウール（マット）	PF	ポリスチレンフォーム保型板（フォームポリスチレンボード）			磁器質タイル張りD	300×600×10.3t
GB-R/GB-R-H	石膏ボード／普通硬質石膏ボード	GWB	吸音用グラスウールボード	Pフィルム	ポリエチレンフィルム0.15t（土間下防護シート）			汚垂タイル張り	800（900）×600×10t テーパー付 （磁器質）
GB-F	強化石膏ボード	GWB-G	吸音用グラスウールボード 不燃硝子不織布巻き	FR/VR	フラッターレール/V型レール			磁器質ノンスリップタイル張り	150×60 10.0t

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
簡見	澤田	大下	高木

高知市東消防署三里出張所新築工事			
建築意匠図		仕 上 表 1	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/	SHEET NO A-19	
(株) A S A 設 計 事 務 所		TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799	
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD			
一級建築士大臣登録第196852号			
田 中 健 一	DRAWN BY K. 田 中	CHECKED BY	

室 名			床	巾 木	腰 壁	壁	柱 型	梁 型	天 井	天井高	廻縁	備 考
3階	緊急消防援助隊活動拠点（会議室）		コンクリート直均し仕上の上 タイルカーペット張り	ビニル巾木 H＝75		GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP GB-R9. 5t+遮音シートA+GB-R12. 5tの上 EP (GW50t内蔵) 長尺金属板0. 8t+GB-F21t+GB-R-H9. 5tの上 EP	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP		GB-R9. 5tの上 DR15t (リブ) 張り	2,900	プラスチック目直し	自然排煙
	収納倉庫		コンクリート直均し仕上の上 ビニル床タイル張りA	同上		GB-R12. 5t+F6t目透し張りのまま 長尺金属板0. 8t+GB-F21t+F6t目透し張りのまま	GB-R12. 5t+F6t目透し張りのまま		GB-D (T) 9. 5t張り	2,600	プラスチック突付け	自然排煙 壁のFはFL+1. 820迄。以上はFK6t目透し張りのまま
	電気・機械室		コンクリート直均し仕上の上 合成樹脂塗床	床同材立上げ H＝100		GB-R12. 5t+FK6t+GW25t (32K) ガラスクロス包み化粧ビニル張え 長尺金属板0. 8t+GB-F21t+GB-R-H9. 5t+FK6t+GW25t (32K) ガラスクロス包み化粧ビニル張え		鉄部見出しの上 EP-G	鉄部見出しの上 EP-G	—	—	自然排煙 間仕切壁 遮音仕様 T L d 60相当 防油堤内部 エポキシ系防食保護材 高知市火災予防条例第31条の3の2（屋内の少量危険物の貯蔵）を適用 内装不燃・屋内に直する出入口は耐火防火設備（告示規定仕様）
	食堂		コンクリート直均し仕上の上 ビニル床タイル張りC	ビニル巾木 H＝75		GB-R9. 5t+12. 5tの上 壁紙張りA 長尺金属板0. 8t+GB-F21t+GB-R-H9. 5tの上 壁紙張りA	GB-R9. 5t+12. 5tの上 壁紙張りA		GB-R9. 5tの上 壁紙張りB	2,600	プラスチック目直し	自然排煙 調理室とは垂壁で区分し油煙の拡散を緩和する
	調理室		コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB	同上		GB-R12. 5t*2の上 壁紙張りA GB-S12. 5tの上 キッチンパネル張り	GB-R12. 5t*2の上 壁紙張りA GB-S12. 5tの上 キッチンパネル張り		FK6t目透し張りの上 EP-G	2,600	同上	無窓の居室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（五）を適用 ～ 下地・仕上共不燃材 火気使用室：令129条第6項により内装制限を受ける室
	浴室		洗床床：軽量コンクリート（WM3. 2050#）60t直均し +モルタル塗りの上 磁器質タイル張りB 浴 槽：図示下地の土 ポリバス（既製品）		モルタル塗りの上 陶器質タイル張りA 一部ポーダータイル張り	F6t+ゴムアスシート0. 8tの上 ALバスパネルA張り 不燃 同左専用AL見切縁（防湿納り）			防水シートの上 ALバスパネルB張り 準不燃（防湿納り）	2,500～ 2,757	AL防湿突付け	自然排煙 天井LGS：SUS ゴムアスシート+F6t目透し張り（全目地シール）は天井裏のスラブ下まで立上げる
	脱衣室		Z3（路込）：コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA Z3+100：洋室床用発泡材80t+ラワン合板T1 12t+4tの上 ビニル床シート張りC	ビニル巾木 H＝75		GB-R9. 5t+12. 5t（薄壁）の上 EP-G GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP-G	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP-G		FK6t目透し張りの上 EP-G	2,600	プラスチック突付け	自然排煙
	洗濯室		コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA	同上	ライニング GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP			GB-D (T) 9. 5t張り	2,600	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500
	乾燥室		コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB	同上		GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP-G			SUSWM-6φ150#＋枠L-40×40×3 上部天井：FK6t目透し張り EP-G	2,100 2,600	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500
共通	多機能WC		1階 コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB	床同材立上げ H＝75	ライニング GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り GB-R9. 5t+GB-F12. 5tの上 化粧FK6t張り			GB-D (T) 9. 5t張り	2,500	プラスチック突付け	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500 床は乾式で使用する。
	職員男子WC		1階 モルタル塗りの上 磁器質タイル張りA 小便器下：汚蓋タイル張り	床同材立上げ H＝100	同上	GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り ※上記2種類は職員女子WCのA面壁仕上も同じ GB-R9. 5t+遮音シート張りA+GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り (GW50t内蔵) GB-R9. 5t+長尺金属板0. 8t+GB-F12. 5tの上 化粧FK6t張り (GW50t内蔵)	GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り		同上	2,500	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500 床は乾式で使用する。
	職員女子WC		1階 モルタル塗りの上 磁器質タイル張りA	同上	同上 壁：GB-F21t*2tの上 化粧FK6t張り	同上	同上		同上	2,500	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項二（二）を適用 ～ 不燃防煙壁H≥500 C面の壁仕上はGB-F21t*2tの上 EP-G 床は乾式で使用する。
	男子WC		2階 コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB 小便器下：汚蓋タイル張り	床同材立上げ H＝75	ライニング GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り GB-R9. 5t+遮音シートA+GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り (GW50t内蔵)	同上		同上	2,500	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500 床は乾式で使用する。
	職員男子・女子WC		3階 同上 同上（男子WC）	同上	同上 GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り GB-R9. 5t+遮音シートA+GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り (GW50t内蔵)	同上			同上	2,500	同上	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500 床は乾式で使用する。
	階段	A	1～3階 図上：ビニル床シート張りA（グリーン） 踏面・蹴上：リブラスモルタル塗りの上 ビニル床シート張りD 1階の一部：モルタル塗りの上 磁器質タイル張りD	ササラPL見出しの上 EP-G H＝75 1階の一部 珪砂石巾木 H＝75		GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP GB-R9. 5t+GB-F12. 5tの上 EP	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP		同上	3階：2,500	プラスチック目直し	令126条の2－1－3の除外部分に該当するので排煙設備不要。但し、階段部分は各階を不燃材防煙壁H≥500で要区画し自然排煙。 ※手摺径40φ
			1階倉庫 コンクリート直均し仕上の上 ビニル床タイル張りA	ビニル巾木 H＝75	一部 合板型枠A種打放しのまま	GB-R12. 5t+FK6t目透し張りのまま GB-R9. 5t+GB-F12. 5t+FK6t目透し張りのまま	鉄部見出しのまま	鉄部見出しの上 EP-G		—	—	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500
	廊下	B	1～3階 図上：ビニル床シート張りA（グリーン） 踏面・蹴上：リブラスモルタル塗りの上 ビニル床シート張りD 1階の一部：コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りB コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA	ササラPL見出しの上 EP-G H＝75 1階の一部 ビニル巾木 H＝75	一部 GB-R9. 5t+12. 5t（薄壁）の上 EP	GB-R9. 5t+GB-F12. 5tの上 EP GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP ※Z1に接地する壁はEP-G	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP	GB-D (T) 9. 5t張り	3階：2,500	プラスチック目直し	令126条の2－1－3の除外部分に該当するので排煙設備不要。但し、階段部分は各階を不燃材防煙壁H≥500で要区画し自然排煙。 ※手摺径40φ	
			2～3階 2階の一部：畳床+ラワン合板T2 12t+4tの上 ビニル床シート張りA	ビニル巾木 H＝75		GB-R9. 5t+12. 5t（薄壁）の上 EP GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP GB-R9. 5t+GB-F12. 5tの上 EP	同上	同上	2,500	同上	自然排煙を基本とするが、主要用途が避難安全検証法の適用対象建築物なので、2階廊下（北）のみ下記告示を用いる。 無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500	
	掃除具入		2・3階 コンクリート直均し仕上の上 ビニル床シート張りA	同上	※2階に貼る GB-R12. 5tの上 化粧FK6t張り	GB-R9. 5t+12. 5tの上 EP			同上	2,500	プラスチック突付け	無窓の室の排煙緩和：平成12年告示1436号第4項へ（二）を適用 ～ 不燃材防煙壁H≥500
3階建て以上の建物の柱の防火被覆							本建物は右記第1号によるため本項は適用しない			—	—	令70条、H12告示1356号（■第1号 □第2号及び個別認定） 第2号の場合 耐火・準耐火・防火構造リスト右図にて対象となる柱の部分に限り30分防火塗装を施す
											</	

下地・仕上略記号表

タイルカーペット張りA	500□ 6. 5t			壁紙張りA	不燃 材工単価¥1, 100/㎡程度	押出成形セメント板	働き幅303 25. 5t 金具止め透気工法 外壁面：防火構造 (89-R15t指張り)
ビニル床タイル張りA	300□ 2. 0t	硬質床仕上材A 車庫内床	強靱・頑強床用 塗付工法	壁紙張りB	不燃 材工単価¥1, 100/㎡程度	ALスバンドレル	働き幅160 3t (面幅)
ビニル床タイル張りB		硬質床仕上材B 内外一般	耐久床用 散布工法	キッチンパネル		台所用珪子繊維不織布板 3t 目透しシールW=3	人工木材 100*30 @100
ビニル床タイル張りC	150*900*3. 0t	硬質床仕上材C 車庫外床	屋外強靱・頑強床用 散布工法	遮音シートA	455*6. 000/巻×2. 8t 遮音性能23dB/500Hz 面φ=4. 2Kg/㎡	目隠しルーバー	人工木材 低床工法 145*25 @150
ビニル床シート張りA	汎用品（マーブル）2. 0t	合成樹脂塗床 一般	軽作業防塵床用 防塵塗付工法	不燃断熱材	無機質板複合フェノールフォーム30t (打込み用)		
ビニル床シート張りB	厨房用防滑型2. 0t	防塵塗装 OAT・小物置	OA床下防塵床用 塗付工法	ALバスパネルA（壁）	断熱材付アルミスバンドレル 1. 5t 断面厚9. 5t 有効W=200 木目調	外部に面するALサッシ	ビル用顔縁納りとし表面仕上は原則としてB-2種とする。
ビニル床シート張りC	コルク柄 1. 8t	ALルーバー	90*90*H60 開口率=79. 01%	ALバスパネルB（天井）	断熱材付アルミスバンドレル 0. 35t 断面厚9. 0t 有効W=300 木目調	外部に面する珪硝子	法令上可能な部分は原則として6tの空気層を有する複層硝子とする。
ビニル床シート張りD	75分防滑型2. 0t			エポキシ系防食保護材	エポキシ防食仕上		
ビニル床シート張りE	屋外防滑型2. 5t	OAフロア	スチール製 500*500*100H 剛性3000N（置ききビニル床タイル仕様）	高性能防水防漏層塗材	高性能アクリルゴム系寄付		

- ・特記無き木材の樹種・等級は松特1等、塗装はEP-Gとする。
- ・特記無き鉄部の塗装は、内部：EP-G 外部：2-FUEとし、外部の鉄部は溶融亜鉛メッキとする。但し、活動車庫内の見え掛り鉄部の塗装は全てDPとする。
- ・特記無きオーバードアはアルミ+FRP製1段小窓付とし、開閉方式は原則として手動式とする。
- ・浴室に隣接する居室・室・廊下等別のRC床壁は全面硬質クレンフォーム20t吹付とする。

高知市東消防署三里出張所新築工事

建築意匠図		仕上表 2	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/	SHEET NO	A-20
株式会社 A S A 設計事務所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		TEL (088) 822-5797 (代)	
FAX (088) 822-5799		一級建築士大田倉録第196892号	
田 中 健 一		DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
福見	澤田	大下	渡辺
松本			

内 部 壁 ・ 柱型				内 外 部 天 井	
①	木製巾木 H=60 UC	④1	GB-R12.5tの上 F6t目透し張りのまま	④1'	GB-R12.5t(薄壁)の上 F6t目透し張りのまま
②		④2			
③	ビニル巾木 H=60	④3	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 F6t目透し張りのまま		
④	ビニル巾木 H=75	④4	長尺金属板0.8t+GB-F21tの上 F6t目透し張りのまま		
⑤	御影石巾木 H=75	④5	GB-R12.5tの上 化粧FK6t張り		
⑥	ビニル床シート張りB立上げ H=75	④6	GB-R12.5t(薄壁)の上 化粧FK6t張り		
⑦		④7	GB-R9.5t+12.5tの上 化粧FK6t張り		
⑧	硬質床仕上材A立上げ H=100	④8	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 化粧FK6t張り		
⑨	硬質床仕上材B立上げ H=75	④9	GB-F21t*2の上 化粧FK6t張り		
⑩	磁器質タイル張りA立上げ H=100	⑤0	GB-R9.5t+遮音シートA+GB-R12.5tの上 化粧FK6t張り(GW50t内蔵)	⑤0'	GB-R9.5t+遮音シートA 張上げ
⑪	合成樹脂塗床立上げ H=100	⑤1	GB-R9.5t+長尺金属板0.8t+GB-F12.5tの上 化粧FK6t張り(GW50t内蔵)	⑤1'	GB-R9.5t+長尺金属板0.8t+GB-F12.5t 張上げ(GW50t内蔵)
⑫	合板型枠A種打放し巾木 H=75	⑤2	GB-F21t*2の上 EP	⑤2'	GB-F21t*2張上げ
⑬	合板型枠A種打放し巾木 H=100	⑤3			
⑭	ササラPL見出しの上 EP-G H=75	⑤4		⑤4'	下地:長尺金属板0.8t+GB-F21t 張上げ
⑮	GB-R9.5t+12.5tの上 EP	⑮'	GB-R12.5t*2の上 EP	⑤5	
⑯	GB-R9.5t+12.5t(薄壁)の上 EP	⑯'	GB-R12.5tの上 EP	⑤6	長尺金属板0.8t+GB-F21t+GB-R-H9.5tの上 EP
⑰	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 EP	⑰'	GB-R9.5t+GB-F12.5t(薄壁)の上 EP	⑤6'	長尺金属板0.8t+GB-F21t+GB-R-H9.5t 張上げ
⑱	GB-R9.5t+GB-F12.5t 張上げ	⑱'	GB-R9.5t+GB-F12.5t張りのまま	⑤7	長尺金属板0.8t+GB-F21t+GB-R-H9.5tの上 壁紙張りA
⑲	GB-R9.5t+遮音シートA+GB-R12.5tの上 EP(GW50t内蔵)	⑲'	GB-R12.5t+長尺金属板0.8t+GB-R12.5tの上 EP(GW50t内蔵)	⑤8	長尺金属板0.8t+GB-F21t+GB-R-H9.5t+FK6tの上 GWB25t(32K)ガラスクロス包み化粧ピン押え
⑳	GB-R9.5t+遮音シートA 張上げ	⑳'	GB-R9.5t 張上げ	⑤9	GB-R12.5t+FK6t+GWB25t(32K)ガラスクロス包み化粧ピン押え
㉑	GB-R12.5tの上 EP-G	㉑'	GB-R9.5t 張上げ	⑤9'	FK6t(薄壁)+GWB25t(32K)ガラスクロス包み化粧ピン押え
㉒		㉒'	GB-R12.5t*2張りのまま		
㉓	GB-R9.5t+12.5tの上 EP-G	㉓'	GB-R12.5t*2張りのまま		
㉔	GB-R9.5t+12.5t(薄壁)の上 EP-G	㉔'	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 キッチンパネル張り		
㉕	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 EP-G	㉕'	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 キッチンパネル張り		
㉖		㉖'	合板型枠A種打放しのまま		
㉗		㉗'	合板型枠B種打放しのまま		
㉘		㉘'	合板型枠B種打放しの上 EP	⑤4'	合板型枠B種打放しのまま
㉙		㉙'	合板型枠B種打放しの上 EP-G		
㉚		㉚'	鉄部見出しの上 EP-G		
㉛		㉛'	鉄部見出しの上 DP		
㉜		㉜'	鉄部溶融亜鉛メッキ見出しのまま		
㉝	GB-R12.5t*2の上 壁紙張りA	㉝'		⑥0'	ラスモルタル塗りの上 ホーダータイル張り
㉞	GB-R9.5t+12.5tの上 壁紙張りA	㉞'	モルタル塗りの上 陶器質タイル張りA	⑦0'	ラスモルタル塗りの上 陶器質タイル張りA
㉟	GB-R9.5t+12.5t(薄壁)の上 壁紙張りA	㉟'	モルタル塗りの上 EP		
㊱		㊱'	F6t+ゴムアスシート0.8tの上 ALバスパネルA張り 不燃 同左専用AL見切縁(防湿納り)		
㊲		㊲'	F6t+ゴムアスシート0.8t 張上げ		
㊳		㊳'			
㊴		㊴'			
㊵	FK6t目透し張りのまま	㊵'			
㊶	GB-R12.5tの上 FK6t目透し張りのまま	㊶'			
㊷	GB-R9.5t+12.5tの上 FK6t目透し張りのまま	㊷'			
㊸	GB-R9.5t+GB-F12.5tの上 FK6t目透し張りのまま	㊸'			
㊹	GB-F21t*2の上 FK6t目透し張りのまま	㊹'	長尺金属板0.8t+GB-F21tの上 FK6t目透し張りのまま		
㊺	GB-R12.5t*2の上 FK6t目透し張りのまま	㊺'			

共通

※特記無き木材の樹種は松、塗装はUCとする。

※CB下地にタイルを張る際は、全面プラスを併用する。

※陶器質タイルの入隅は3mmのシール打ちとする。

※天井裏にGB-Fによる防火区画壁が立ち上がる場合、スラブ・梁・その他の取合い部に隙間が生じる際は製造所の認定仕様にて充填する。

※1h準耐火の水平区画及び垂直区画、異種用途区画に隙間が生じる際は、1.6t以上の鉄板にて塞ぎRWを充填する。

※天然木不燃又は準不燃処理材はビス止φ600後、埋木処理とする。

※化粧FK張りは原則として突付け納まりとし、切放し部を突付け部には使用しない。出隅は見付12.5とし  形状のアルミジョイナーを用いる。

※家具、洗面化粧台等の背面の壁は指定材を施すが、塗装・壁紙等の仕上は要さない。

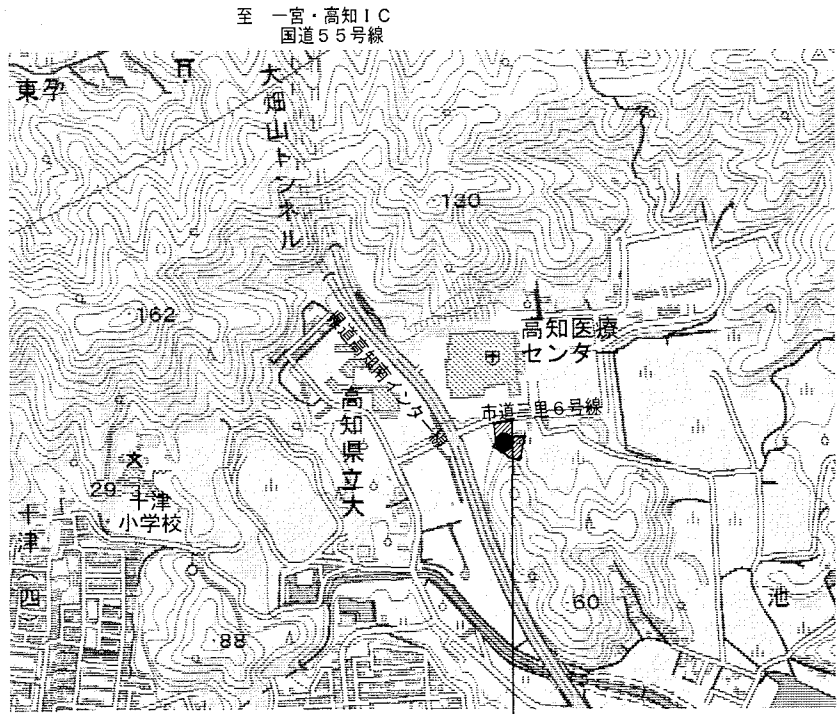
※建板、C-BOX等で幅が150mmを超える板材は造作用集積材を用いる。この場合、一般製材が取合うことは許容する。

高知市都市建設部公共建築課

係	係 長	課長補佐	課 長
			

高知市東消防署三里出張所新築工事

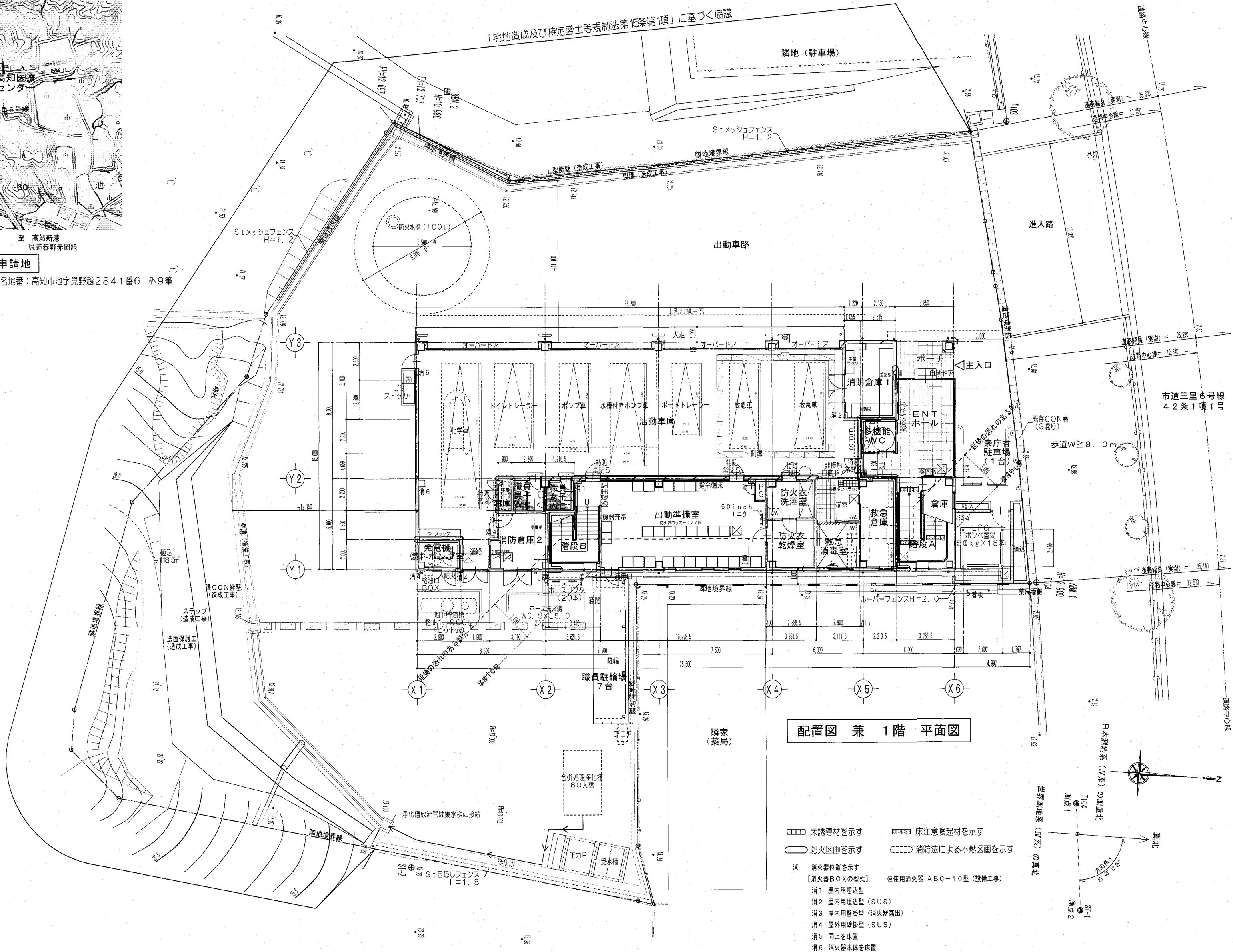
建築意匠図	仕 上 記 号 表
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ SHEET NO A-21
(株) A S A 設 計 事 務 所	
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (R) FAX (088) 822-5799	
一級建築士大田貴雄第196852号	田 中 健 一
DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY



付近見取図

申請地

地名番：高知市池字見野越2841番6 外9筆



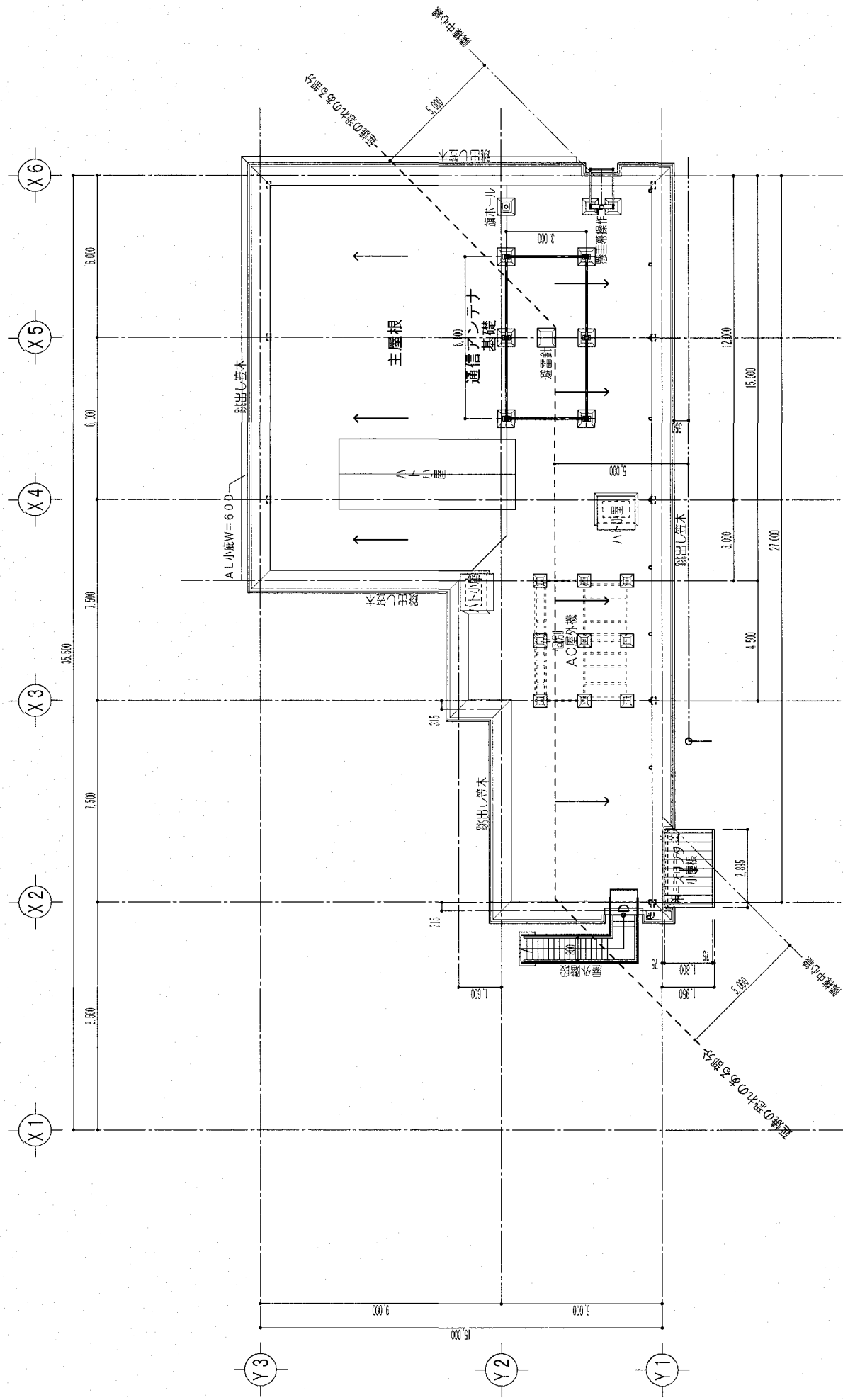
配置図 兼 1階 平面図

- 床誘導材を示す □ 床注意喚起材を示す
○ 防火区画を示す ○ 消防法による不燃区画を示す
消 消火器位置を示す ※使用消火器：ABC-10型（設備工事）
【消火器BOXの型式】
消1 屋内用埋込型
消2 屋内用壁掛型（SUS）
消3 屋内用壁掛型（消火器露出）
消4 屋外用壁掛型（SUS）
消5 同上を床置
消6 消火器本体を床置

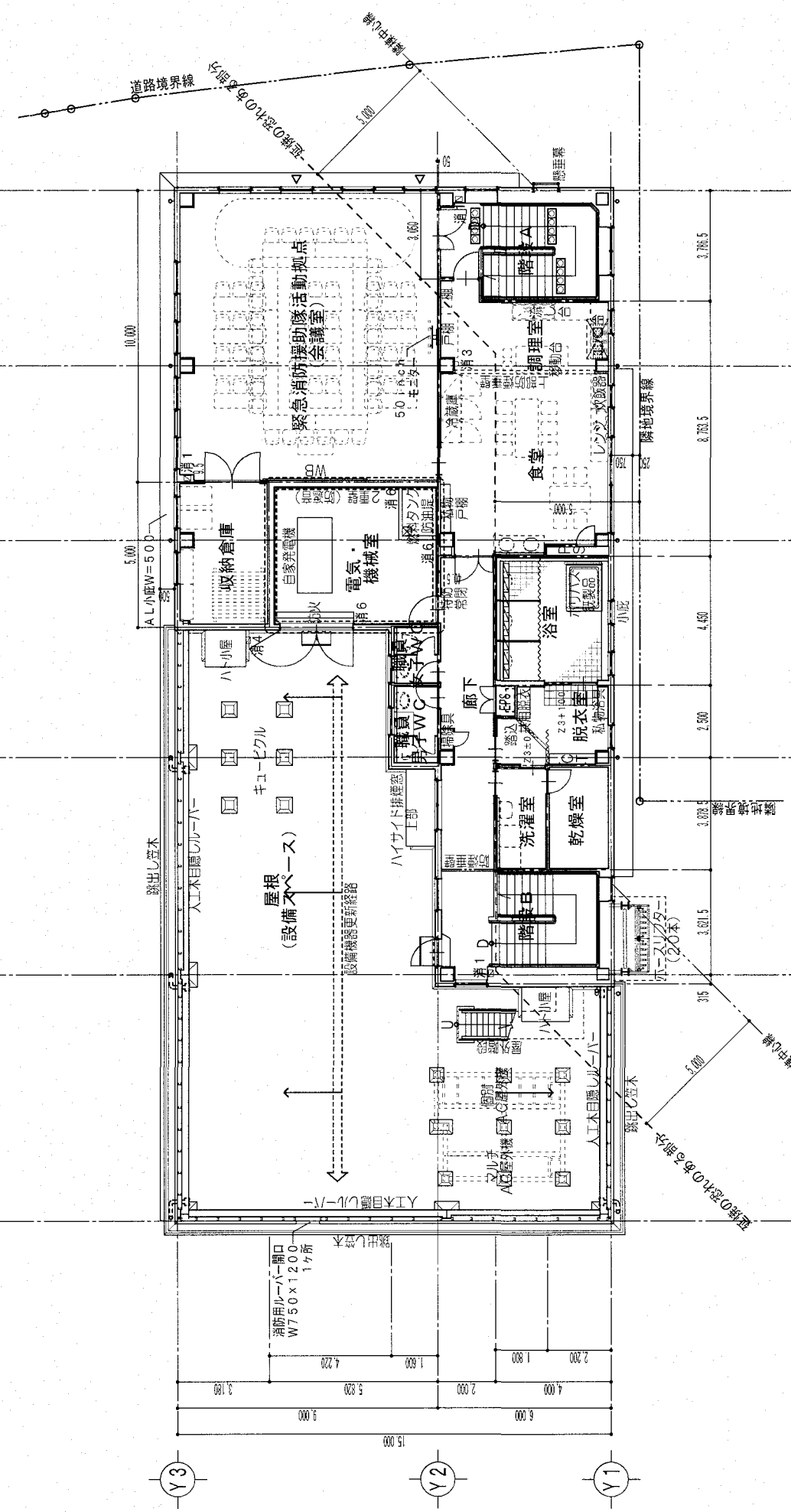
階段A・B		
蹴上	1～2階	186.36
	2～3階	185.71
踏面	285	±版込30
有効巾（踊場とも）	1,400	手摺内法
両側手摺	H=900（壁付）	H=1,100（腰壁）

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
稲見	澤	大下	濱口
松本			

高知市東消防署三里出張所新築工事			
建築意匠図	付近見取図・配置図 兼 1階平面図	DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/200
SHEET NO A-22		（株）A S A 設計事務所	
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		TEL (088) 822-9797 (代)	
一級建築士大田健一第196852号		FAX (088) 822-9799	
田中 健一	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY	

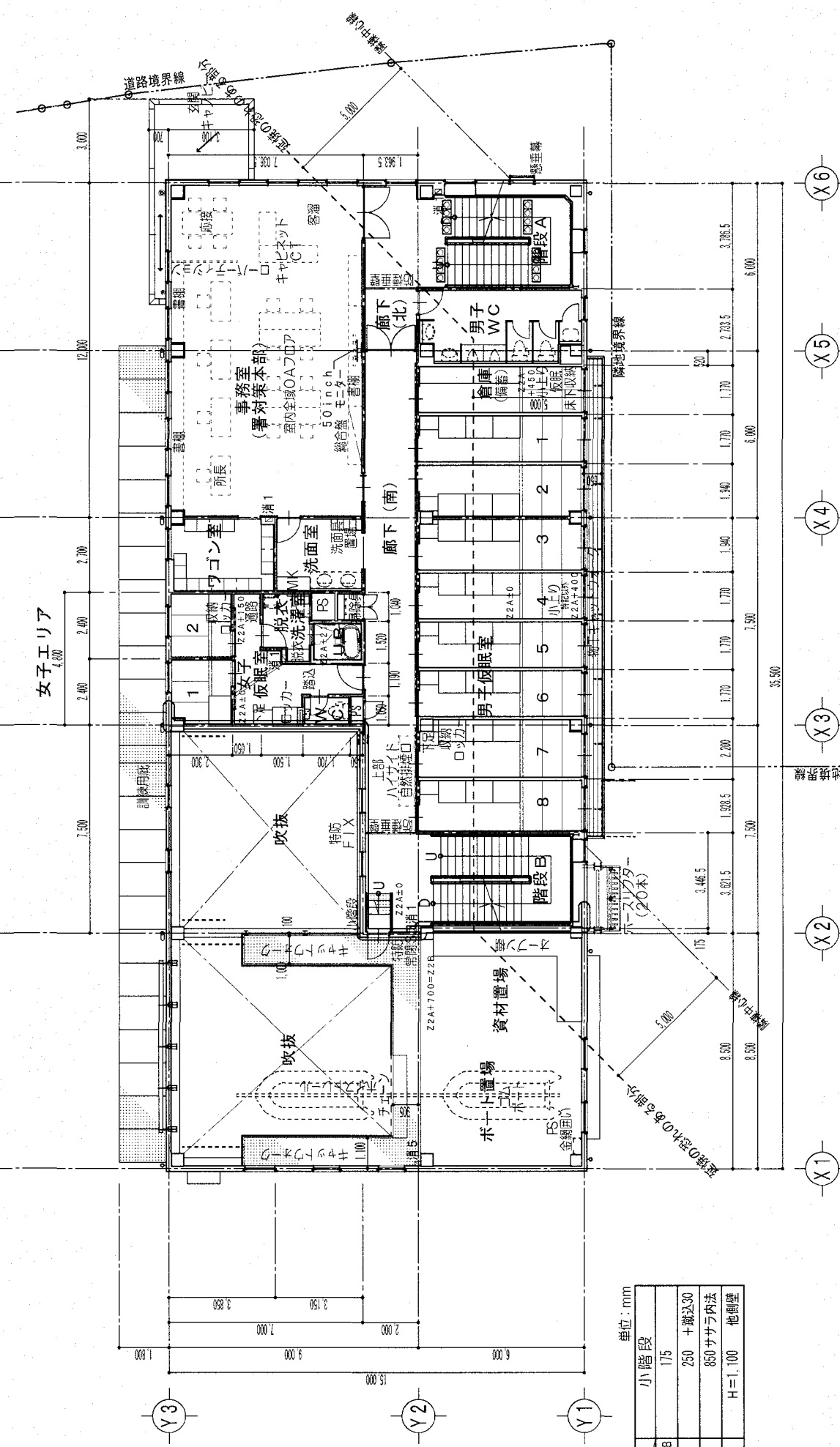


屋根伏図



3階 平面図

▽ 代目出入口を示す (2ヶ所)



2階 平面図

単位: mm	
屋外階段 (法定外)	723.68
縁上 3階-1階	200 + 縁上30
路面	800 サラサ内法
有効巾	H=1,100
両側手摺	

単位: mm	
小階段	
縁上 F2A-B	175
路面	250 + 縁上30
有効巾	800 サラサ内法
片側手摺	H=1,100 他側壁

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
田中	澤田	大下	濱口

高知市東消防署三里出張所新築工事

建築意匠図2・3階平面図 屋根伏図

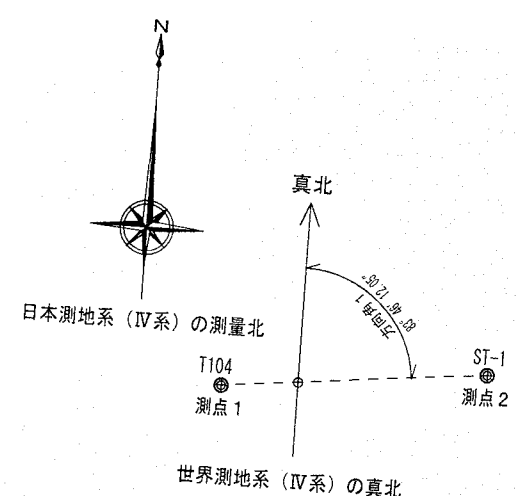
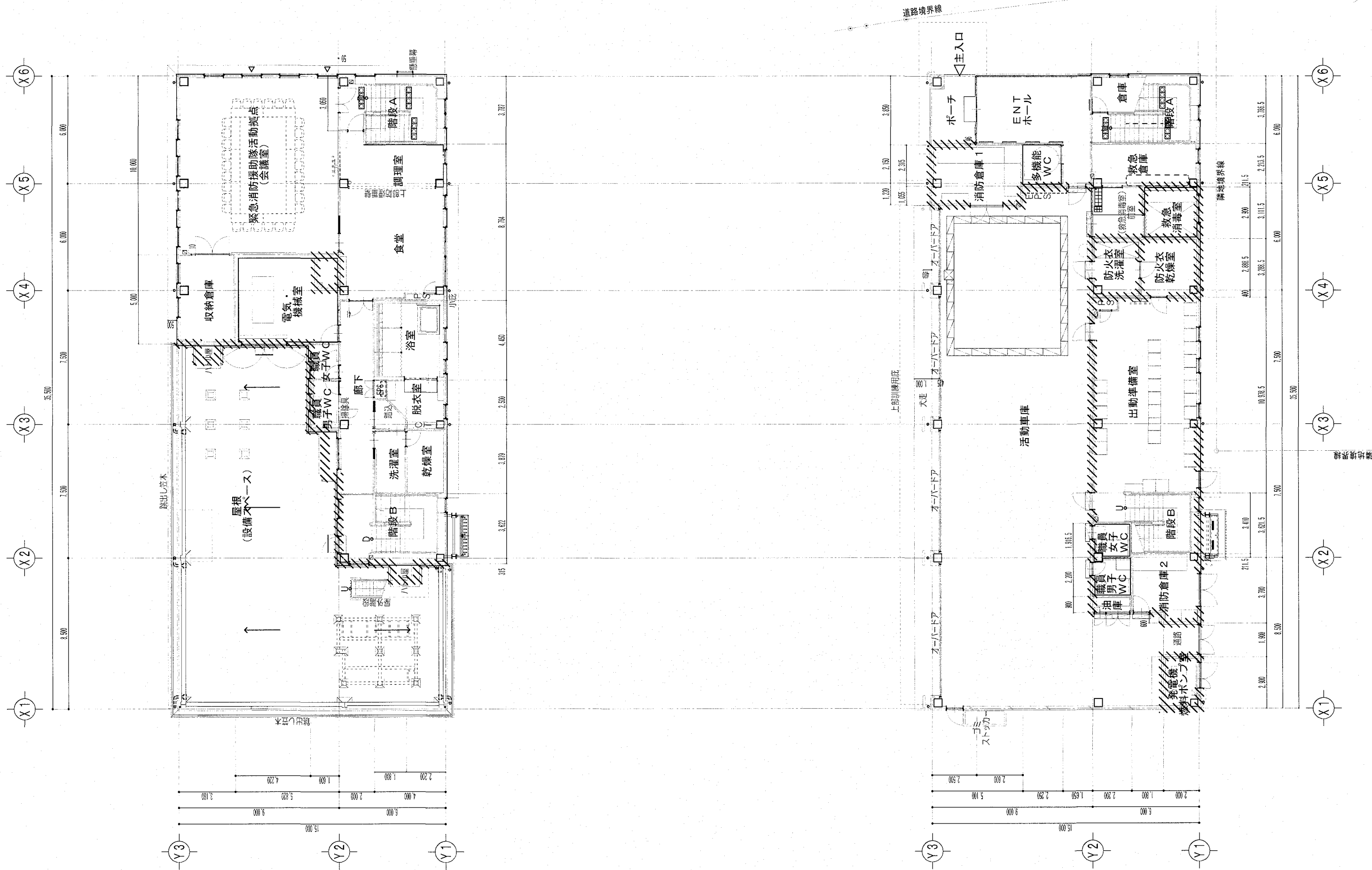
DATE/ 2025/6/30SCALE/ 1/200SHEET NO A-23

(株) A S A 設計事務所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORDTEL (088) 822-5797 (代)FAX (088) 822-5799

一級建築士大田金太郎 1968.5.2号

田中 健一DRAWN BY K. 田中CHECKED BY



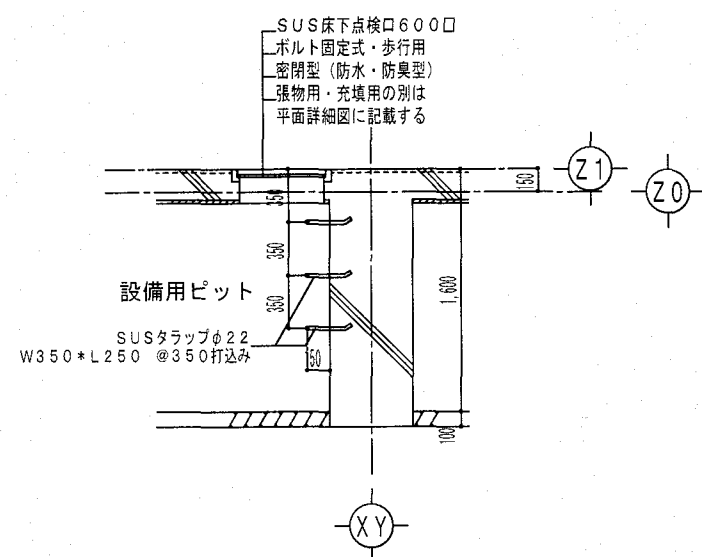
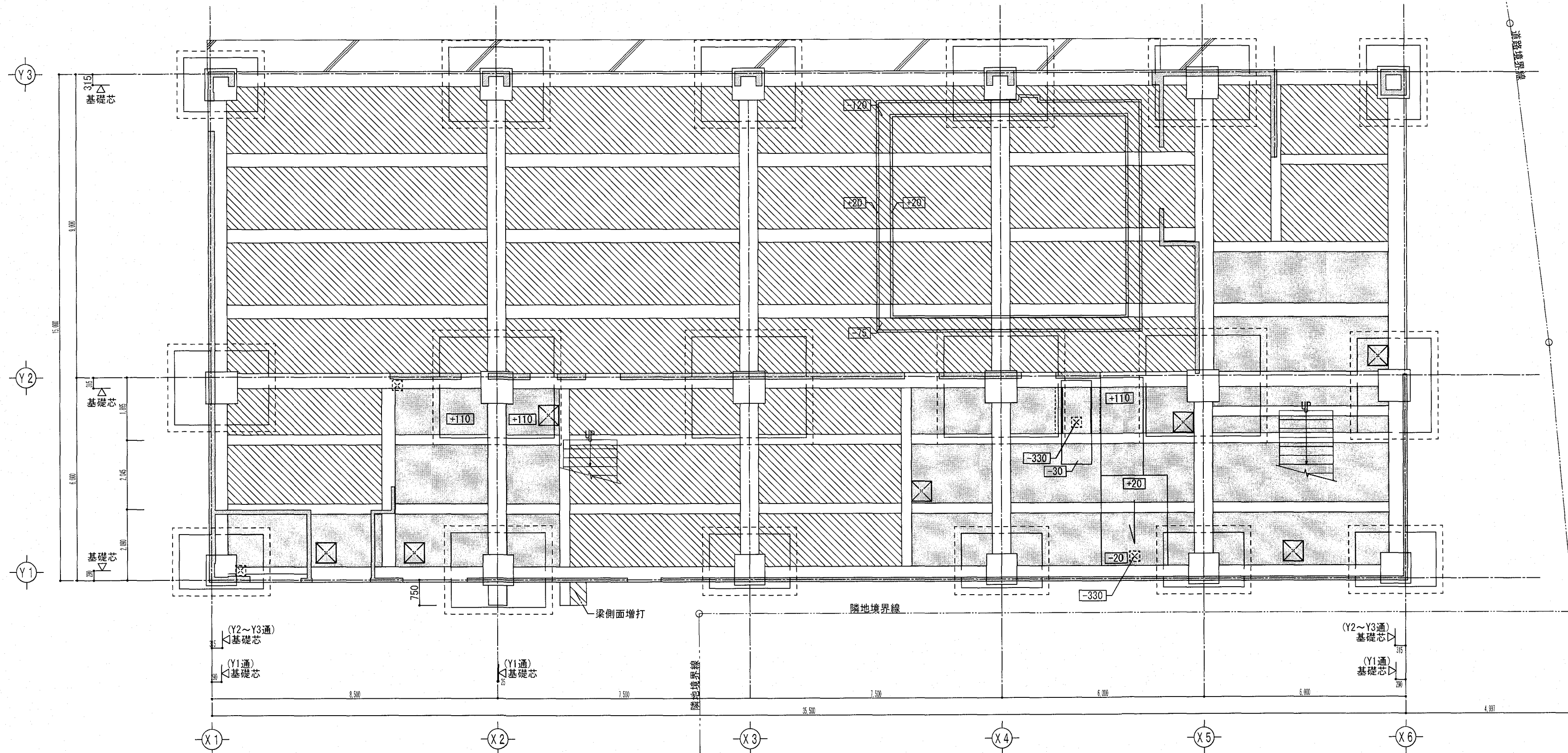
凡例
//// 止水ロープ打込みを示す

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
田中	健一	大下	大下

高知市東消防署三里出張所新築工事		
建築意匠図	止水ロープ位置図	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/200	SHEET NO. A-25
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (098) 822-5797 (R) FAX (098) 822-5799		
一級建築士大抵登録第196892号	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY
田中 健一		

隣地境界線

道路境界線



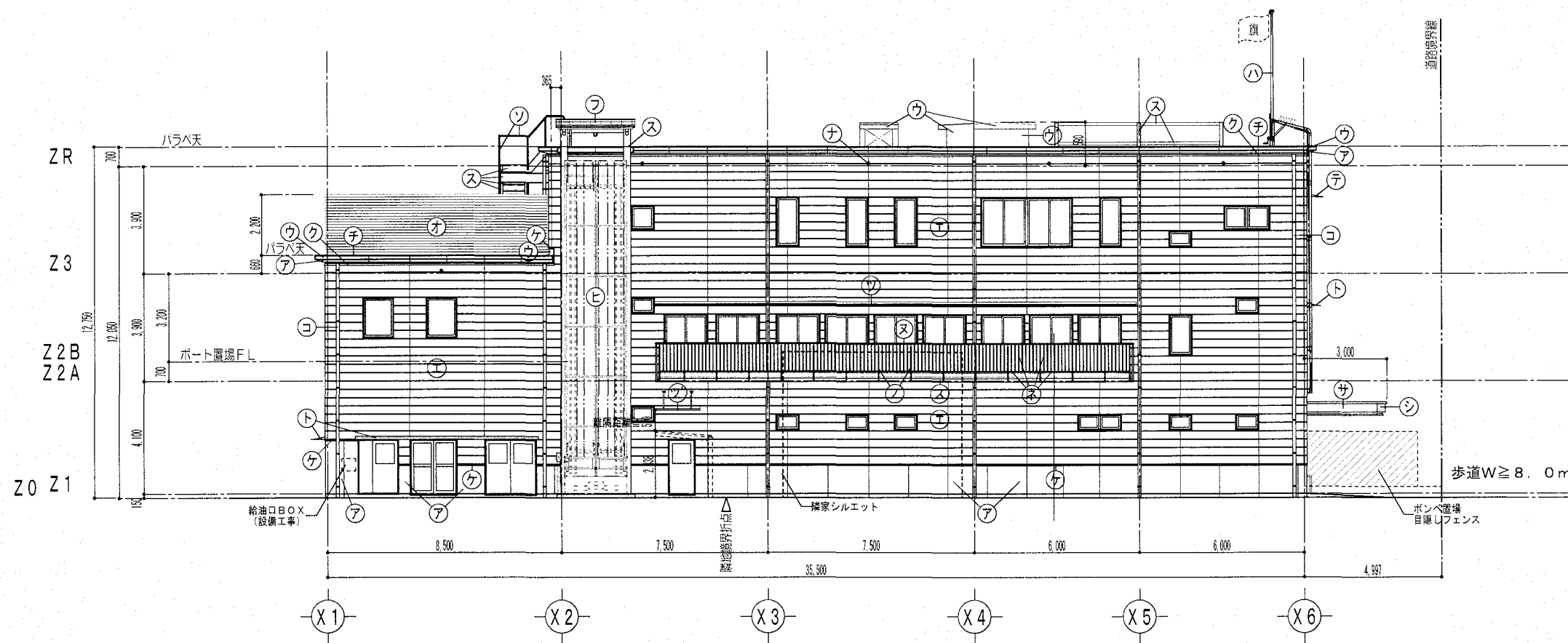
床下点検口 断面図 S=1/50

ピット伏図

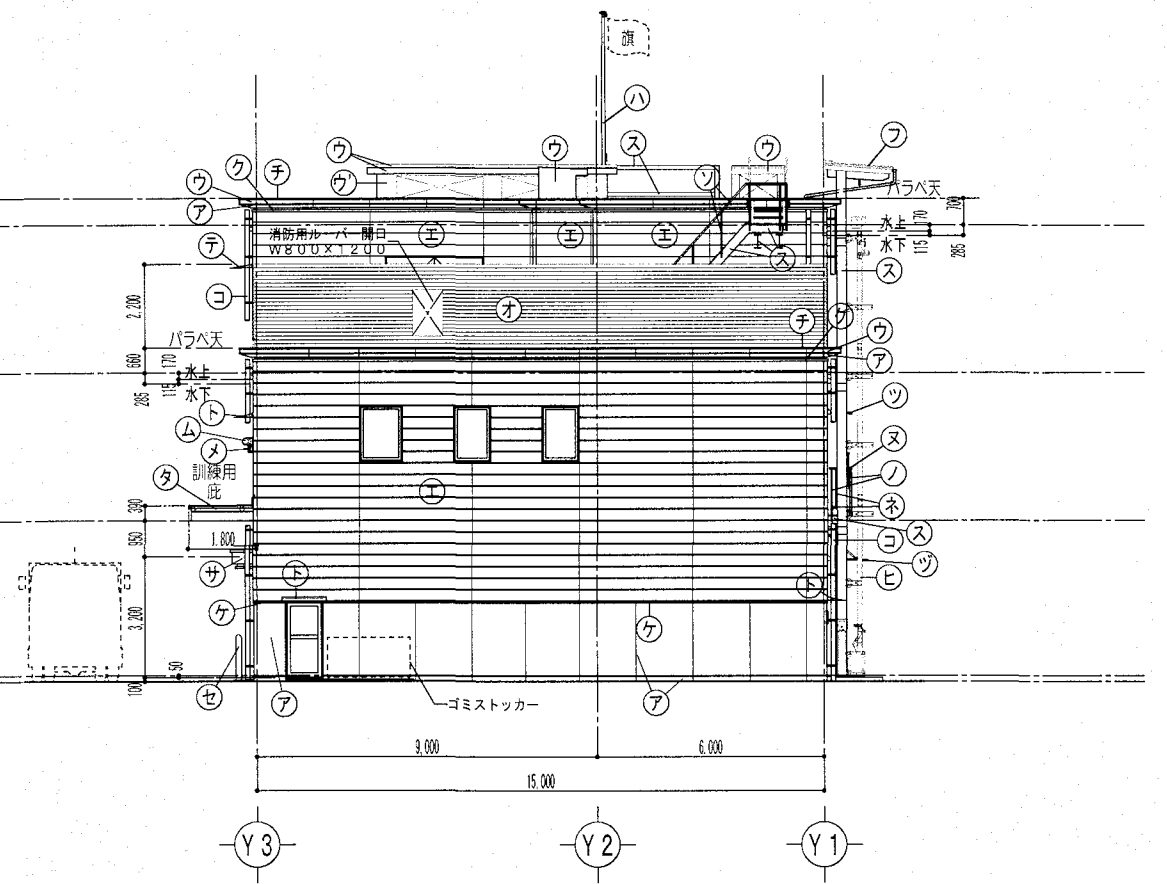
- 設備用ピット範囲を示す
- 埋戻し範囲を示す

高知市都市建設部公共建築課				
係	係長	課長補佐	課長	
稲見	澤	大	濱口	松本

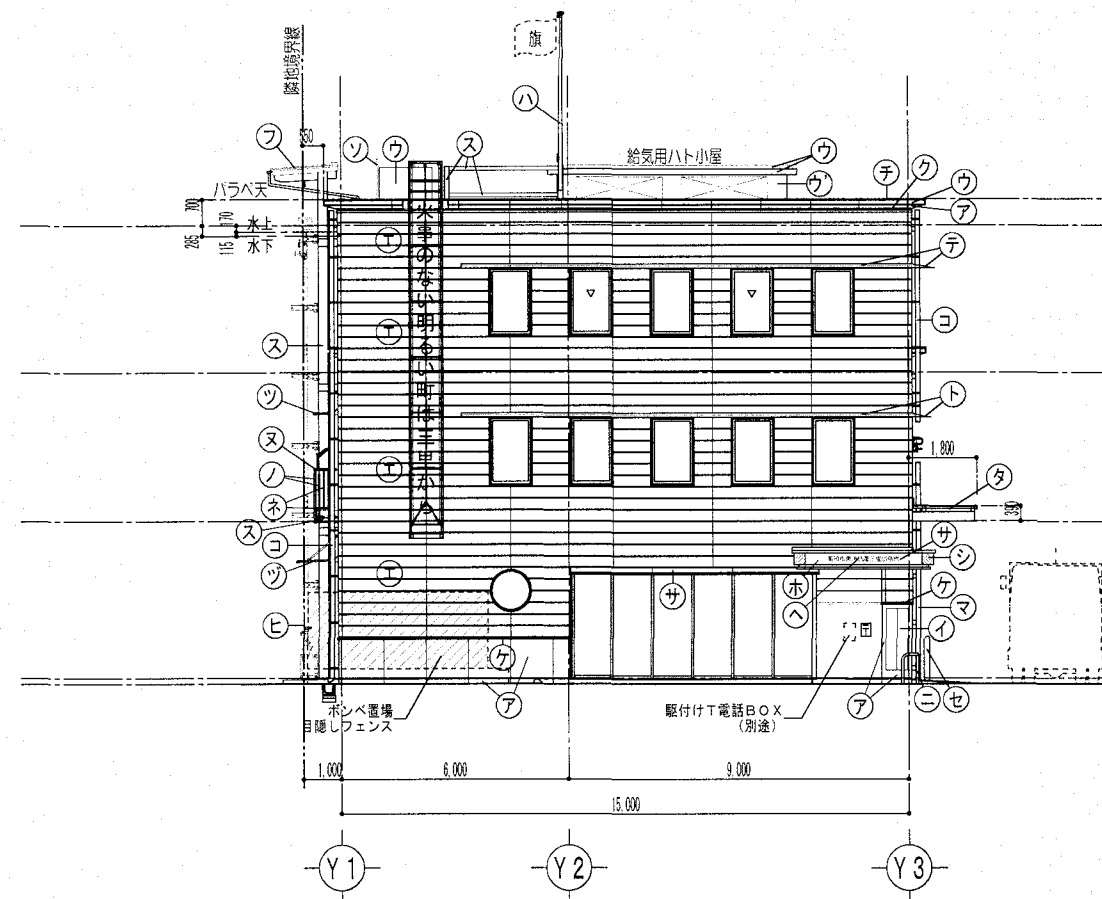
高知市東消防署三里出張所新築工事		
建築意匠図	設備用ピット伏図	
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/100	SHEET NO. A-26
(株) A S A 設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大証登録第1968852号		
田中健一	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY



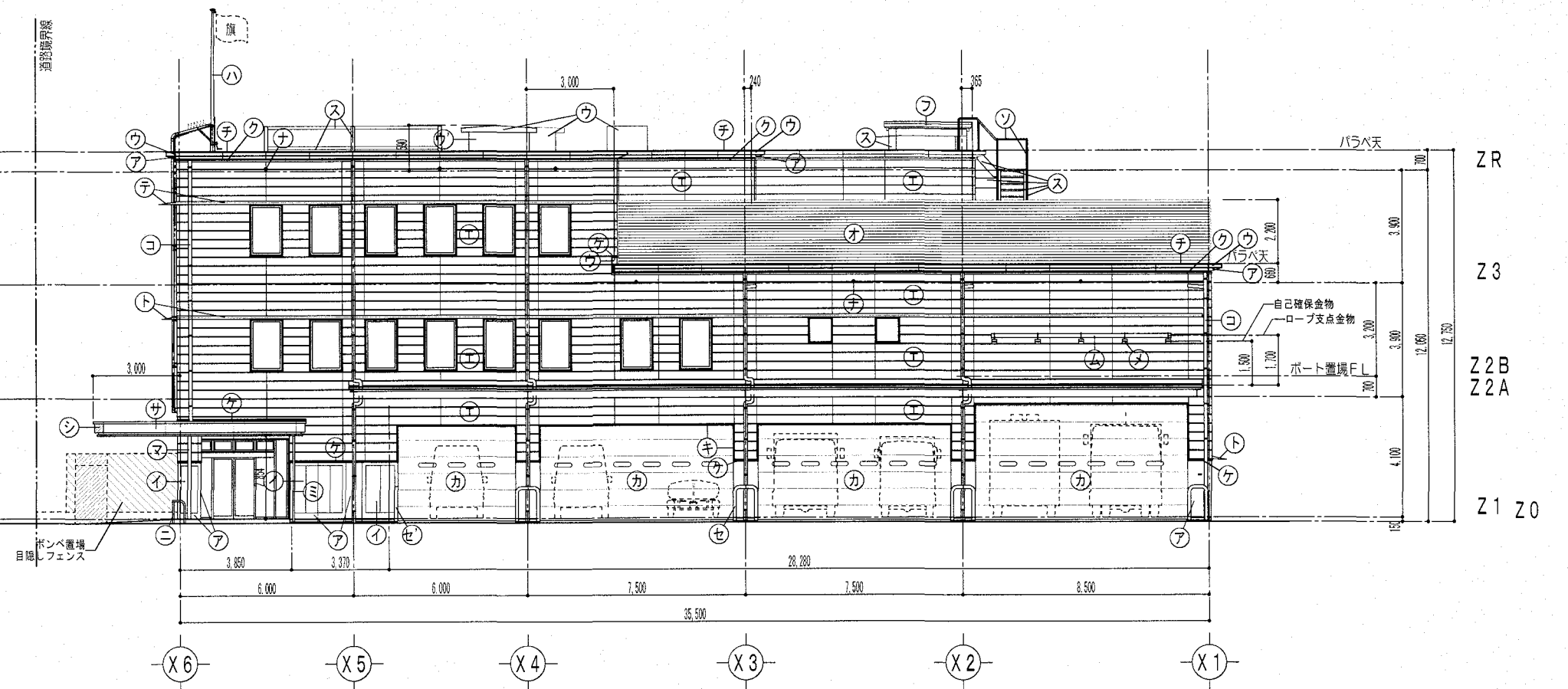
東 立面図



南 立面図



北 立面図



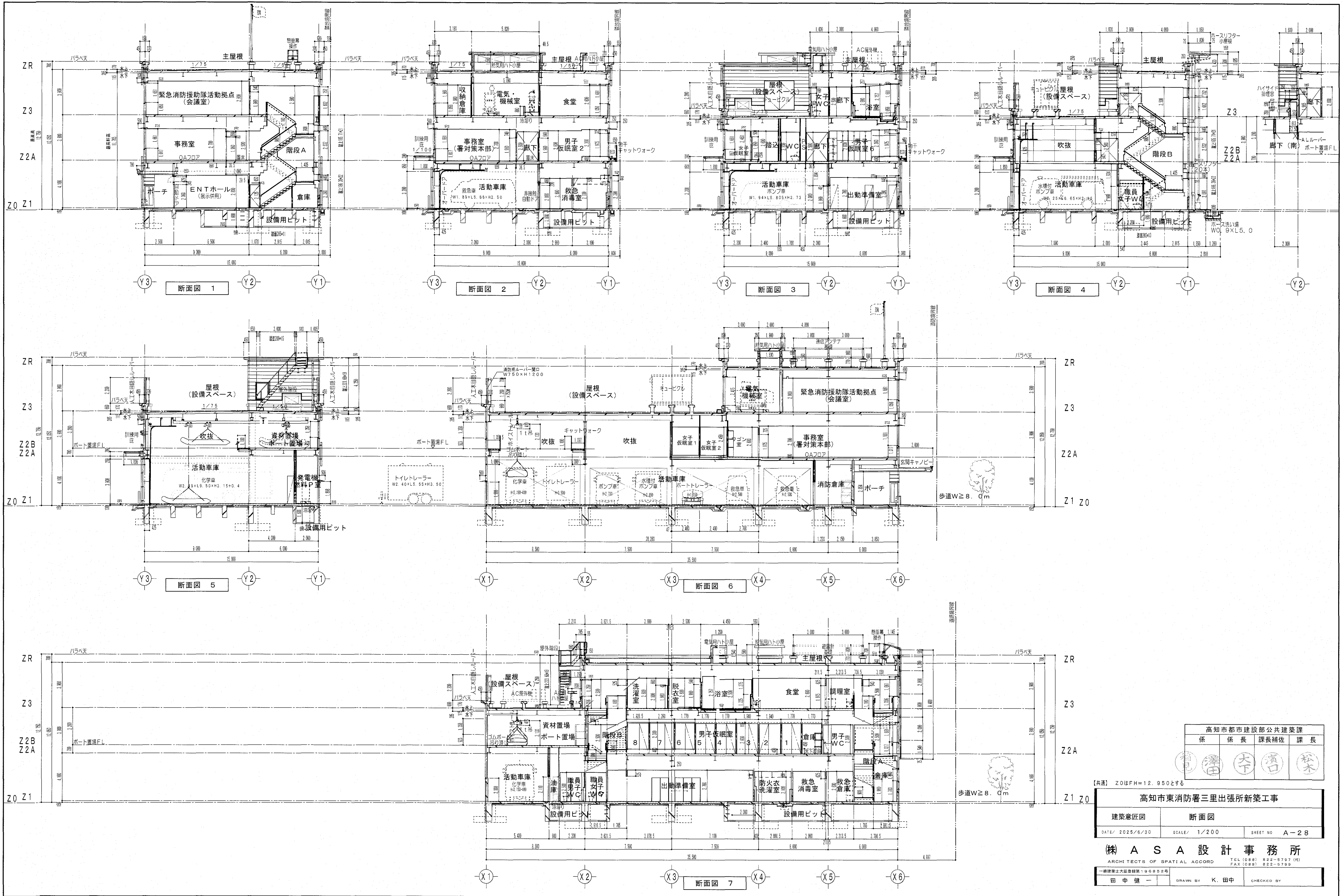
西 立面図

外部仕上記号表

記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名
ア	合板型枠A種打放し 浸水材吹付	ク	水切長尺金属板 糸W=200	ソ	S t溶融亜鉛メッキ手摺 H=1.1m	ニ	SUSコーナガード H=0.8m	ヘ	SUS切文字 (取付) 150*150 2-FUE焼付塗装
イ	合板型枠A種打放し 小叩き仕上の上 浸水材吹付	ケ	水切長尺金属板 糸W=180	タ	訓練用小底 鉄部 溶融亜鉛メッキのまま	ヌ	AL手摺笠木	ホ	消防救車200Φセラミックス浮上式 (閉鎖型 既製品)
ウ	合板型枠B種打放し 床用高性能防水形複層塗材 (ウ) 同左 壁用	コ	縦縫カラーVP100φ SUS鋼み金物	チ	軒先水切ALアングル押え L=35*70	ネ	AL手摺子十足元繋ぎ	マ	縦縫アルミ100φ バンドレス
エ	押出成形セメント板張り 2-FUE 金具止めの通気工法 目地W=10	サ	ALパネル2 t 2-FUE焼付塗装	ツ	AL小底 (既製品) W=650 (ツ) 同左 W=1,100 サポートポール付	ノ	手摺支柱S t 2FB-9*50 @1,175 天端S t FB-9*32 挟み込み T型加工	ミ	縦縫アルミ60φ バンドレス
オ	目隠しルーバー 人工木100*30 t @100	シ	赤色灯BOX アクリル板5 t加工	テ	AL小底 (既製品) W=600	ハ	AL旗掲揚テーパーポール H=5m (※旗1,500*1,000想定)	ム	S t溶融亜鉛メッキ ロープ支点金物
カ	AL+FRPオーバードア 小窓付 (手動)	ス	鉄部 溶融亜鉛メッキのまま	ト	AL小底 (既製品) W=500	ヒ	S t溶融亜鉛メッキ+SUS ホースリフター装置一式 10本×2用	メ	SUS 自己確保金物
キ	3方枠 SUS1.5 t 糸W=850	セ	S t溶融亜鉛メッキガードパイプ H=1.2m (セ) 同左直管	ナ	SUSオーバーフローパイプ60.5φ	フ	小屋根 長尺金属板 立ハゼ葺き		

高知市都市建設部公共建築課			
係	係 長	課長補佐	課 長
田中	健一	大下	清口

高知市東消防署三里出張所新築工事			
建築意匠図	立面図	DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/200
SHEET NO A-27		DRAWN BY K. 田中	
CHECKED BY		TEL (088) 822-5797 (代)	
FAX (088) 822-5799		ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD	
一般建築士大会登録第1968852号		(株) A S A 設計事務所	



高知市都市建設部公共建築課			
係長	係長	課長補佐	課長
田中	大下	濱口	松本

【共通】 Z0はFH=12.950とする

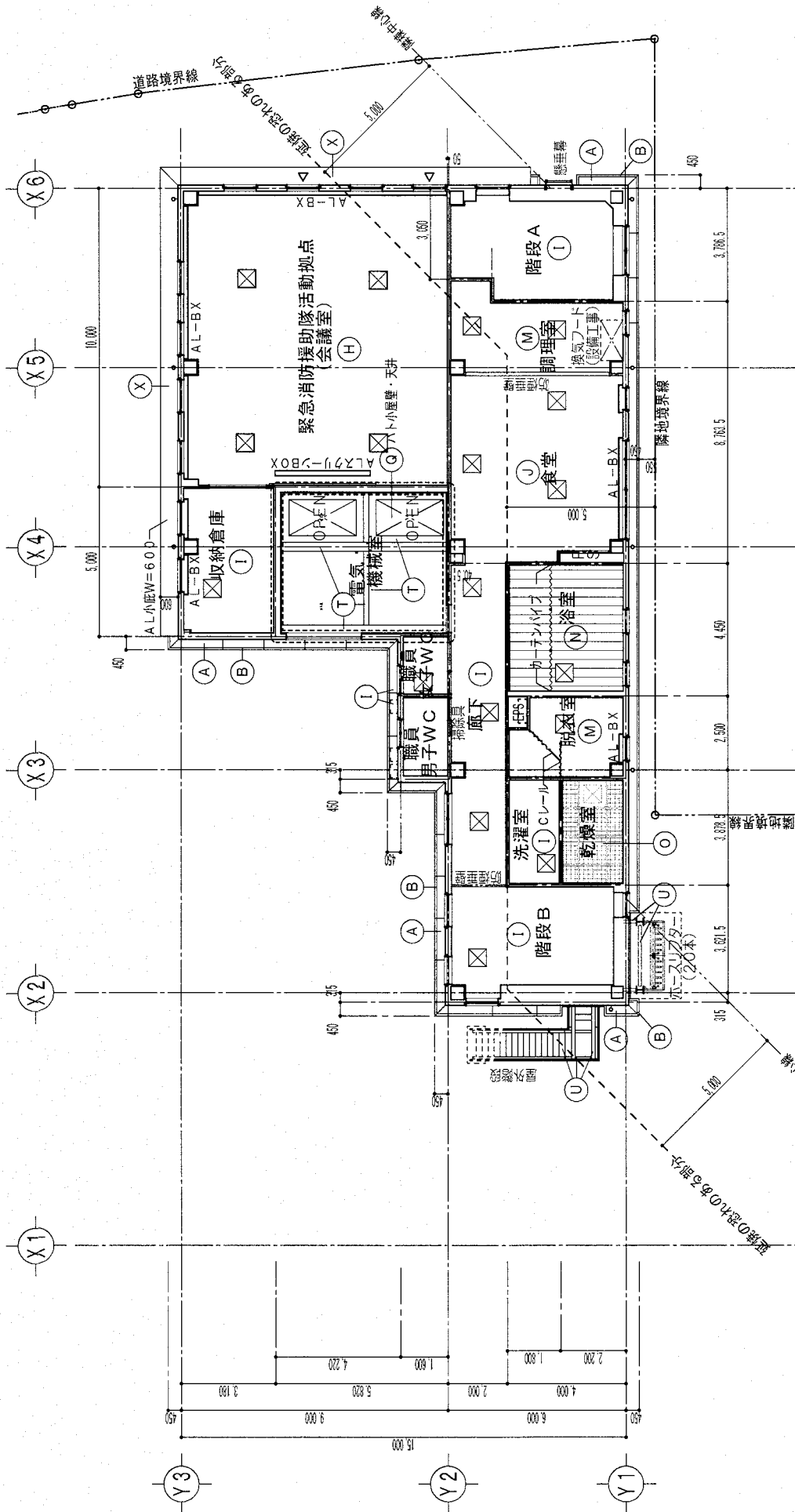
高知市東消防署三里出張所新築工事	
建築意匠図	断面図
DATE/ 2025/6/30	SCALE/ 1/200
SHEET NO A-28	

（株）A S A 設計事務所

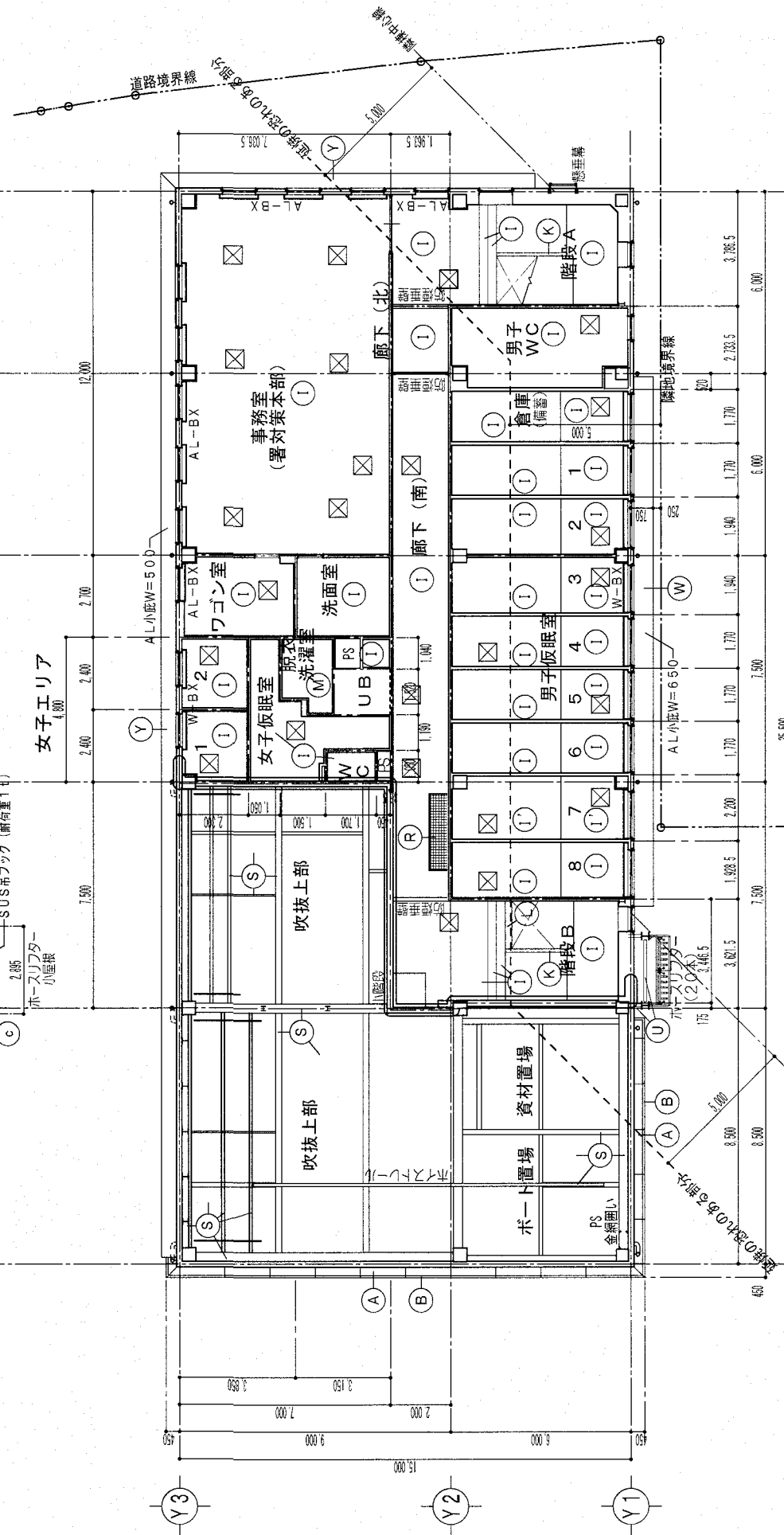
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799

一級建築士大臣登録第106882号

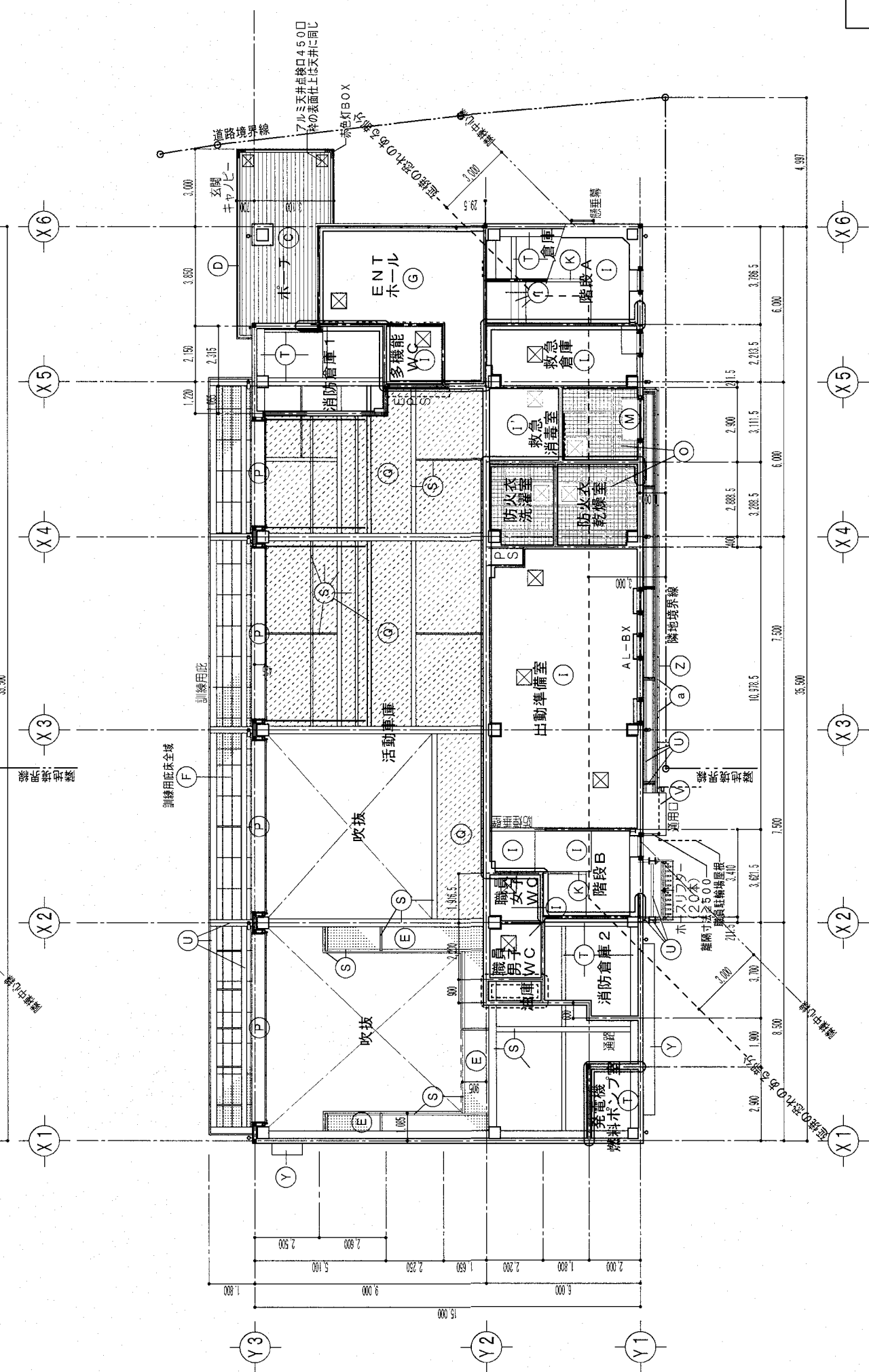
田中 健一	DRAWN BY K. 田中	CHECKED BY
-------	----------------	------------



▽ 代替進入口を示す（2ヶ所）



10



10

AL-BX: アルミブラインドボックス W=120を示す
W-BX: 木製ブラインドボックス W=120 UCを示す

[illegible]

記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名
A	合板型枠+横打筋し 浪水材取付	K	GB-R9, 51+12, 51の上 EP	U	鉄部 消磁型枠メッキのまま		
B	合板型枠+B建板し 床用断熱防水防潮断熱材	L	GB-R12, 51の上 EP	V	AL小底 (既製品) W=1,000		
C	ALスパンドレル張り	M	FK61目造し張りの上 EP-G	W	AL小底 (既製品) W=650		
D	ALスパン22 2-FUEに横打建板	N	防水シートの上 ALバスマルB張り 溝不燃 (防湿処理)	X	AL小底 (既製品) W=600		
E	CHPL 消磁型枠メッキのまま	O	SUSWM-66150+7枠L-40*40*3 上塗り丹:FK61目造し張り EP-G	Y	AL小底 (既製品) W=500		
F	St CHPL-6 先張立下(立上)75 断熱材有St: L-65*65*6 中間材有St: L-50*50*4	P	3方枠 SUS1, 51 板W=850	Z	AL半層板		
G	GB-R9, 51の上 DR9*張り	Q	不燃断熱板30t打込みのま	a	型架支St: 2FB-2*50 ①1, 175 天板St: FB-3*32板のみ		
H	GB-R9, 51の上 DR16 (リブ)張り	R	ALバー-90*90*H60 開口率=79.01%	b	野地板 複質不片セメント板18tの上 EP		
I	GB-D (T) 9, 51張り ① GB-NC (T) 9, 51張り	S	鉄部張出しの上 DP	c	水切 長尺金網板		
J	GB-R9, 51の上 断熱張りB	T	鉄部張出しの上 EP-G	d			

一級建築士大冊登録第196852号

田 中 健 一	DRAWN BY	K. 田中	CHECKED BY
---------	----------	-------	------------

DRAWN BY K. 田中 CHECKED BY